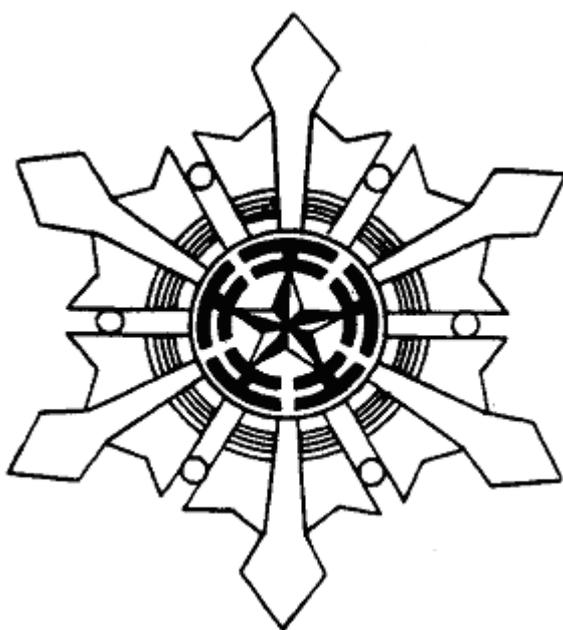


消防年報

令和元年版



江別市消防本部

市 章

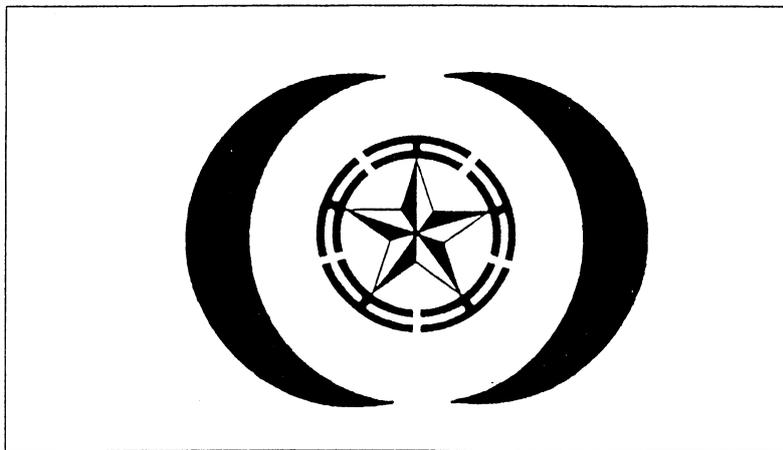


中央の星は、江別開拓の礎となった屯田兵をあらわし、これを囲む円は月をかたちどり、朝に星をいただき出て、夕べに月を仰いで帰る、勤労の精神を意味しています。

また、周囲のエは江別の頭文字であり、市民の一致協和をあらわしています。

市 章 制 定 大正13年10月24日

市 旗



市の紋章は、先人の伝統を意味し、これを囲む模様は、市民を意味するとともに、紋章を囲む円の広がり、未来に向かって飛躍する無限性をあらわしています。

市 旗 制 定 昭和43年5月25日

は し が き

この年報は、令和元年中の江別市の災害、救急統計に基づく災害活動と令和2年1月1日現在の消防諸般の現勢を明らかにし、将来の消防体制の強化と火災予防活動上の参考として収録したものであります。

令和2年1月

江別市消防本部

目 次

* 総 務 編

市勢概要	1
署所配置図	2
消防庁舎の概要	2
消防現勢総括表	3
令和元年度経常・臨時別分析表	4
令和元年度当初消防費予算（歳出）	4
消防機構図	5
消防職員配置状況	6
消防職員階級別年齢状況	6
消防職員階級別勤続年数状況	6
消防吏員各種資格取得状況	7
消防職員教育状況	8

* 予 防 編

危険物施設状況	9
危険物施設の許可・承認状況	9
建築物確認申請消防同意処理状況	10
政令対象物施設状況・防火管理者選任状況	11
階層別・業態別棟数表	12
各種届出状況	13
民間防火組織等状況	14
火災予防各種行事实施状況	15

* 警 防 編

消防自動車等の現勢	16
消防水利設置状況	17
市街地・準市街地等における消防水利の設置状況	17
高機能消防指令センターシステム構成図	18

* 災害等総括編

月別災害等受付状況	19
過去5か年災害受付状況	19
災害等出動状況	20
月別災害等出動状況	20
過去5か年災害等出動状況	20
警戒等出動状況	21
地区別警戒等出動状況	21
過去5か年警戒等出動状況	21
救急支援出動状況	22
地区別救急支援出動状況	22
過去5か年救急支援等出動状況	22

北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況	2 3
航空隊応援要請状況	2 3

*火 災 編

火災発生状況	2 4
令和元年月別火災状況	2 5
図 1 月別火災出火数	2 6
図 2 出火原因別件数と火災損害額	2 6
過去 5 か年原因別火災発生状況	2 7
用途別火災原因調査	2 8
火災覚知別状況	2 9
曜日別・出火時間火災状況	2 9

*救 助 編

月別救助出動状況	3 0
過去 5 か年救助出動状況	3 0
地区別救助出動状況	3 1
発生場所別救助出動状況	3 1

*救 急 編

救急活動	3 2
月別救急出場状況	3 2
過去 5 か年救急出場状況	3 2
曜日別救急出場状況	3 3
時間別救急出場状況	3 3
地区別救急出場状況	3 4
高速自動車道救急出場状況	3 4
年齢別救急搬送人員調	3 5
年齢別傷病程度別搬送人員調	3 5
医療機関別傷病者搬送状況	3 5
救急隊員の行った応急処置件数	3 6
応急手当普及講習会の開催状況	3 7

*消 防 団 編

消防団員数状況	3 8
消防団員階級別勤続年数状況	3 8
消防団員研修派遣状況	3 8
消防団員階級別年齢状況	3 9
消防団員出動状況	3 9

*消防の沿革

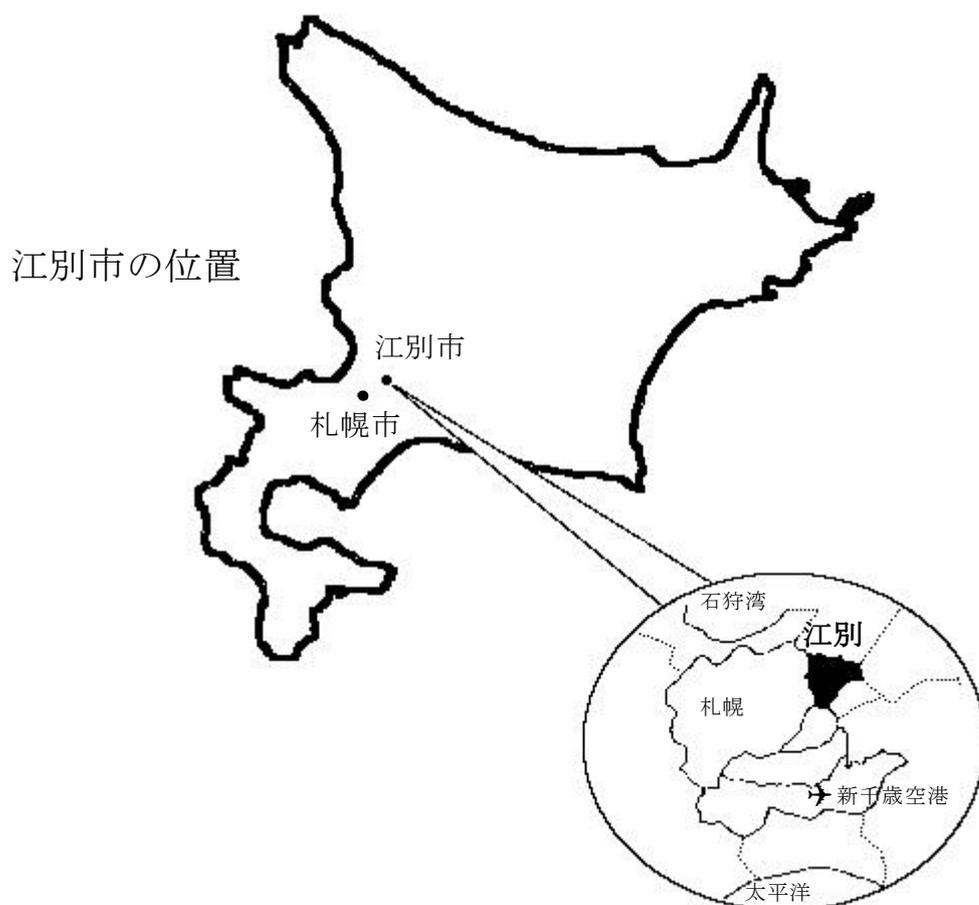
江別消防のあゆみと主な災害等	4 0～5 2
----------------	---------

総務編



消防出初式

市 勢 概 要



江別市は、石狩平野の中央部に位置し、東西約 17.3k m、南北 18.1km、総面積は 187.38k m²を有しています。地形は南端部の標高 93.0mが最高で、最低の湿地帯は北東 2.5mと全般的に平坦な地勢を形成しています。主流石狩川が市の北東部から北西部へと市域を貫流し、各支流河川と合流しています。南西の高台から北に連なる一連の火山灰埴土地帯は、肥沃な水田酪農地帯から市街地形成が進み、人口の集積地域として著しい発展を示しております。

◆ 位 置 (極東) 東経 141° 40' 20" (極西) 東経 141° 26' 52"
(極南) 北緯 43° 00' 52" (極北) 北緯 43° 10' 13"

◆ 面 積 187.38k m²

◆ 人 口 119,580人 (住民基本台帳人口) 令和2年1月1日現在
男56,888人 女62,692人

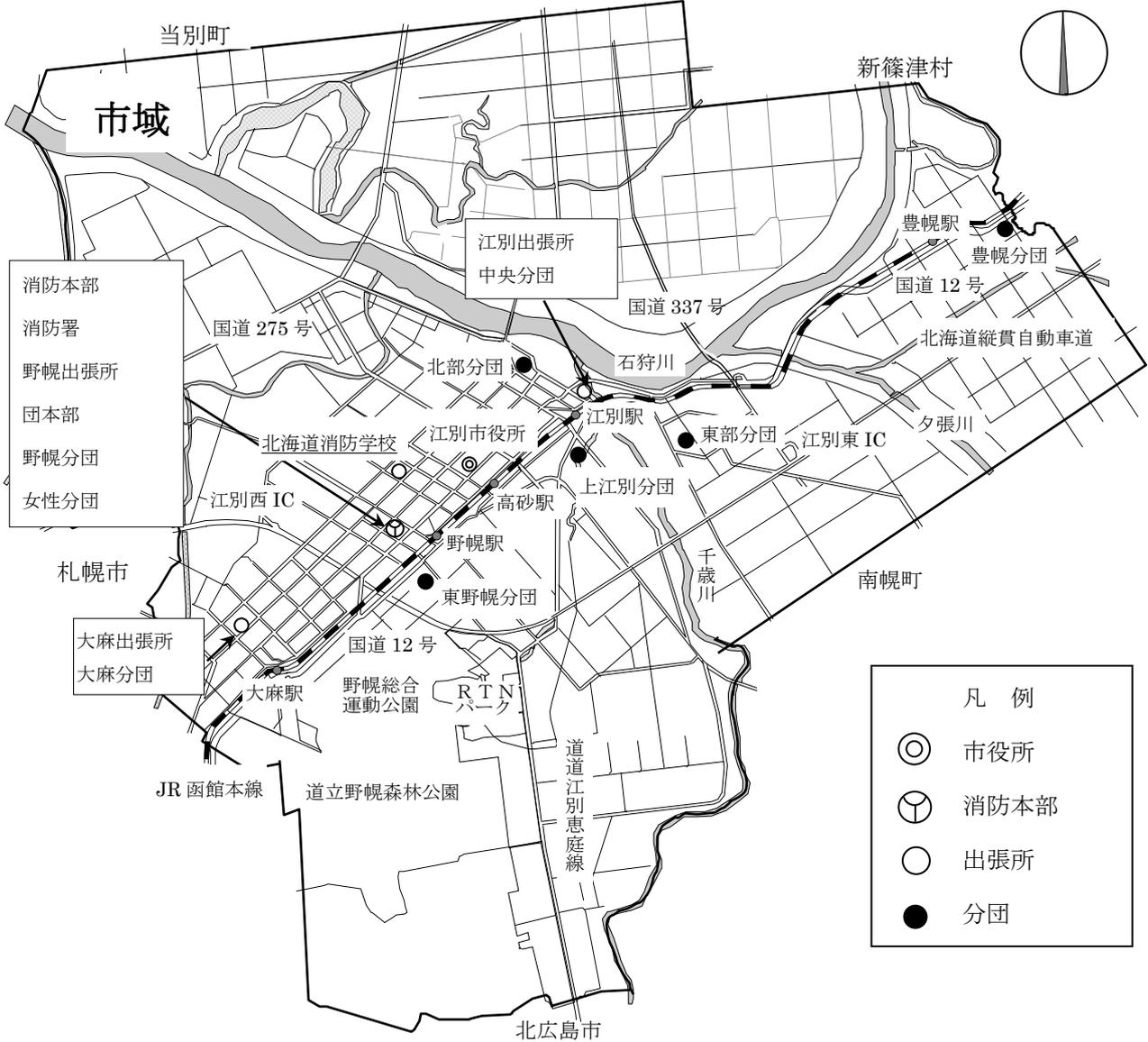
◆ 世 帯 数 58,026世帯

◆ 気 象 (令和元年) 観測地点：江別地域気象観測所=アメダスより
平均気温 7.9℃ 最高気温 32.8℃ 最低気温 -22.1℃
総降水量 743.5mm
平均風速 3.4m/秒 最大風速 13.8m/秒

◆ インターネットホームページ

江別市のホームページ (<https://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/>) から江別の消防のページへお入りください。

署所配置図



消防庁舎の概要

名称	所在地	構造	敷地面積 (㎡)	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年次
消防本部・署 (消防団本部)	野幌代々木町80番地の8	鉄筋コンクリート3階建 (一部4階)	5,461.81	1,235.00	3,554.00	平成4年
江別出張所 (中央分団)	3条1丁目1番地	鉄骨造2階建	889.25	334.75	516.75	昭和59年
野幌出張所 (野幌分団)	消防本部庁舎内					平成4年
大麻出張所 (大麻分団)	大麻元町192番地の3	鉄筋コンクリート 一部2階建	3,066.70	465.35	615.09	平成8年
北部分団	緑町東2丁目55番地の2	木造モルタル2階建	303.64	63.18	124.74	昭和46年
上江別分団	上江別南町1番地の25	木造モルタル平屋建	417.39	78.57	78.57	昭和46年
東野幌分団	野幌若葉町7番地の3	木造ガルバリウム2階建	337.70	121.50	130.68	平成24年
豊幌分団	豊幌686番地の10	鉄骨造平屋建	3,000.02	99.81	99.81	平成12年
東部分団	朝日町8番地の81	木造モルタル2階建	441.05	87.48	174.96	昭和53年
女性分団	消防本部庁舎内					平成4年

消 防 現 勢 総 括 表

消 防 本 部		1 本部	消 防 団	1 団	
消 防 署		1 署	分 団 数	9 分団	
出 張 所		3 出張所	消 防 団 員	定 数 200 人	
当 初 予 算	一 般 会 計	45,820,000 千円	消 防 団 員	実 員 数 196 人	
	消 防 費	1,202,121 千円	非 常 備 消 防 車 両	消 防 ポ ン プ 自 動 車	6 台
	比 率	2.6 %		小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	3 台
警 防 要 員	92 人	連 絡 車		1 台	
消 防 職 員	救 急 要 員	24 人	※ 自衛消防隊の車両については非常備消防車両に含む。		
	予 防 要 員	7 人			
	小 計	123 人			
	そ の 他 の 要 員	7 人			
	合 計 (実 員 数)	130 人			
	定 数	130 人			
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	4 台			
常 備 消 防 車 両	化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	1 台			
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 水 槽 車	1 台			
	救 急 自 動 車	4 台			
	救 助 工 作 車	1 台			
	は し ご 付 消 防 自 動 車	1 台			
	災 害 情 報 支 援 車	1 台			
	広 報 車	1 台			
	連 絡 車	2 台			
	小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	3 台			
	災 害 支 援 車	1 台			
	指 揮 車	1 台			

令和元年度 経常・臨時分析表

(単位：千円)

予算総額	経常経費			臨時経費		
	予算額	特定財源	一般財源	予算額	特定財源	一般財源
1,202,121	1,101,366	4,861	1,096,505	100,755	89,835	10,920

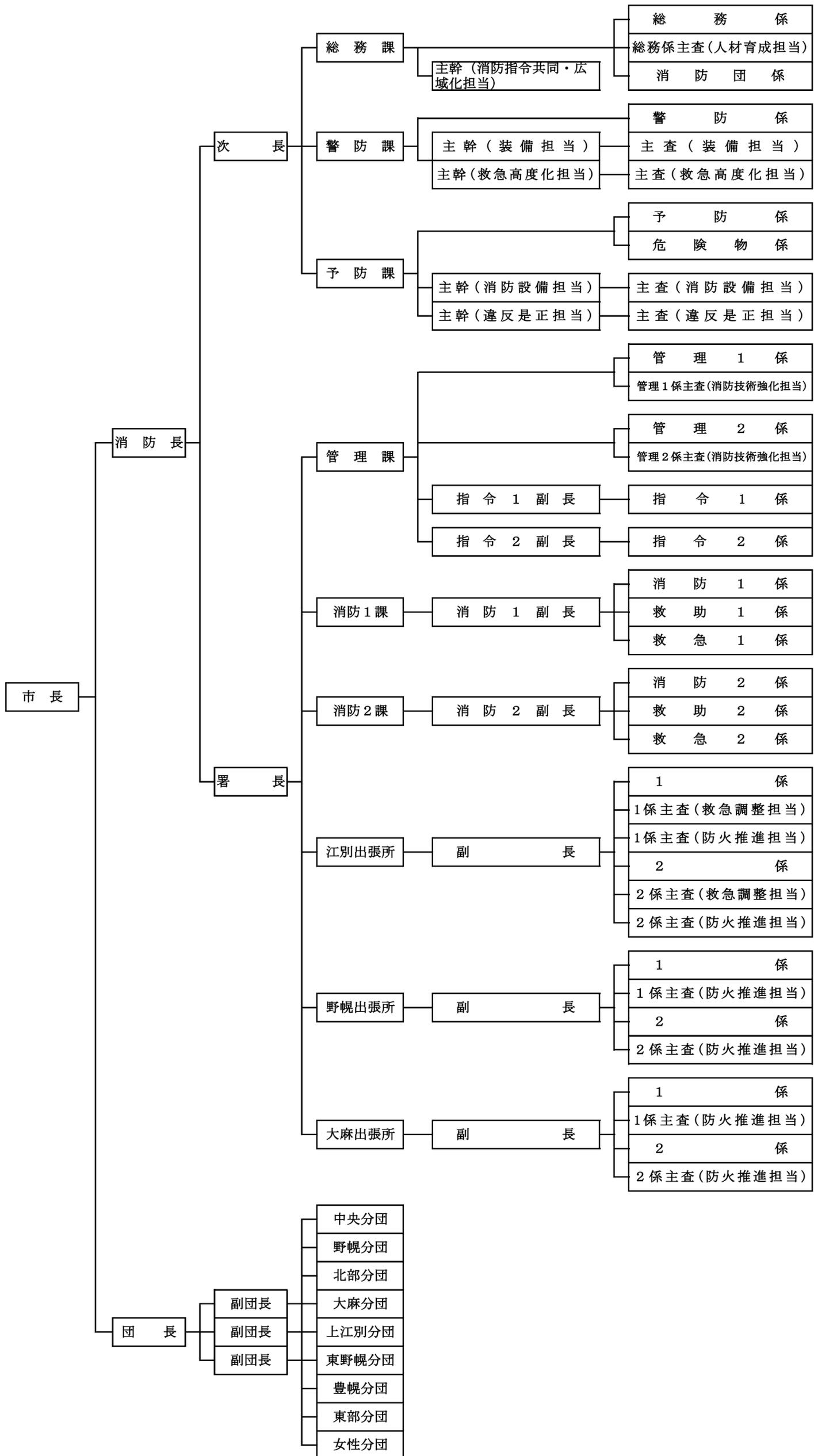
令和元年度 当初消防費予算 (歳出)

(単位：千円)

目	本年度	前年度	比較	本年度の財源内容		節	
				特定	一般	区分	金額
消 防 費	248,825	423,622	△ 174,797	94,143	154,682		
常 備 消防費	195,765	381,940	△ 186,175	諸 収 入 4,308 市 債 69,300 計 73,608	122,157	報 酬 4,456 報 償 費 476 旅 費 2,456 交 際 費 30 需 用 費 53,004 役 務 費 13,595 委 託 料 35,935 使 用 料 及 び 料 4,741 賃 借 料 110 原 材 料 費 72,606 備 品 購 入 費 8,356 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	
非常備 消防費	30,121	32,766	△ 2,645		30,121	報 酬 6,485 報 償 費 61 旅 費 13,071 交 際 費 30 需 用 費 4,110 役 務 費 67 委 託 料 22 使 用 料 及 び 料 211 賃 借 料 14 原 材 料 費 245 備 品 購 入 費 5,805 負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	
消 防 施設費	22,939	8,916	14,023	諸 収 入 13,235 市 債 7,300 計 20,535	2,404	需 用 費 783 工 事 請 負 費 21,337 原 材 料 費 819	

※ 職員給与費含まず

消防機構図



消防職員配置状況

(人)

階級 部署		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
本部	消防長	1	1							
	次長	1								1
	総務課	7			2	2	2			1
	警防課	7			2	3	2			
	予防課	11			3	4	4			
	本部付	1					1			
小計		28	1		7	9	9			2
消防署	署長	1		1						
	管理課	15			3	6	5		1	
	消防1課	17			2	3	6	4	2	
	消防2課	17			2	3	7	1	4	
	江別出張所	24			2	6	7		9	
	野幌出張所	14			2	4	4	2	2	
	大麻出張所	14			2	4	4	2	2	
小計		102		1	13	26	33	9	20	
合計		130	1	1	20	35	42	9	20	2

消防職員階級別年齢状況

(人)

階級 年齢	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
19歳以下	3							3	
20歳～24歳	12							12	
25歳～29歳	21					7	9	5	
30歳～34歳	15					15			
35歳～39歳	15				3	12			
40歳～44歳	17				10	6			1
45歳～49歳	21			5	15	1			
50歳～54歳	10			6	4				
55歳～59歳	13		1	8	2	1			1
60歳以上	3	1		1	1				
合計	130	1	1	20	35	42	9	20	2

※ 平均年齢 39.0歳

消防職員階級別勤続年状況

(人)

階級 年数	合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他
5年未満	23					1	3	17	2
5年以上10年未満	20					11	6	3	
10年以上15年未満	18				1	17			
15年以上20年未満	11				4	7			
20年以上25年未満	22			3	14	5			
25年以上30年未満	15			3	12				
30年以上	21	1	1	14	4	1			
合計	130	1	1	20	35	42	9	20	2

※ 平均勤続年数 18.0年

消防吏員各種資格取得状況

(人)

免 許 資 格		階 級	合 計	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士
自動車運転免許	普 通		6							6
	準中型(5t限定)		15					3	2	10
	中型(8t限定)		8	1		3	1	3		
	大 型		99		1	17	33	37	7	4
救 急 救 命 士			33	1	1	6	7	12	1	5
小 型 船 舶 操 縦	一 級		1			1				
	二 級		38			9	15	11	3	
陸上特殊無線技士	二 級		53			8	21	22	2	
	三 級		8			1	1		1	5
予 防 技 術 資 格 者		防火査察	32			8	14	10		
		消防設備	13			6	5	2		
		危険物	10			2	5	3		
技能講習	小 型 移 動 式 ク レ ー ン		28			6	13	7	1	1
	玉 掛 技 能		29			6	13	8	1	1
	酸欠危険作業 主任者	酸素欠乏	26			8	12	6		
		硫化水素	24			8	11	5		
	足 場 組 立 作 業 主 任 者		8			3	4	1		
特別教育	ア ー ク 溶 接		15			3	9	3		
	高 圧 ・ 特 別 高 圧 電 気 取 扱		3					3		
	低 圧 電 気 取 扱		4				1	2	1	
	大 径 木 伐 木 等 作 業		13			4	4	5		
	小 径 木 伐 木 等 作 業		2						1	1
	巻 上 げ 機 (ウインチ)		8				2	5	1	
衛 生 管 理 者			12			2	7	3		
消 防 設 備 士	乙 種		8				6	2		
危 険 物 取 扱 者		甲 種	2				2			
		乙 種	41	1		6	16	14		4
		丙 種	8			3	4	1		

消 防 職 員 教 育 状 況

(人)

教育課程		年度										
		平成 22	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元	
消防 大学 校	総 合 教 育 (上 級 幹 部 科 ・ 幹 部 科)	1				2						
	専 科 教 育 (火 災 調 査 科 他)									2		
	実 務 講 習 (消 防 団 活 性 化 推 進 コー ス ・ 女 性 活 躍 推 進 コー ス 査 察 業 務 マ ネ ジ メ ン ト コー ス)							1	1		1	
北 海 道 消 防 学 校	初 任 教 育	4	4	2	6	5	3	5	5	6	3	
	専 科 教 育	警 防 科				1	1	1	2	1		1
		予 防 査 察 科		1		1	1	1	1	1		1
		危 険 物 科		1				1	1	1		1
		火 災 調 査 科	1		1			1	1	1		1
		救 急 科	2	3	3	3	4	4	4	3	4	2
		救 助 科	1	1	2	1	1	1	2	2	1	1
	幹 部 教 育 幹 部 科			1			1	1	1		1	
	特 別 教 育	消 防 ポ ン プ 操 法 指 導 員 課 程					1		1		2	
		は し ご 自 動 車 運 用 課 程	1		1		2	2	1	1	1	
		気 管 挿 管 講 習	1									
		薬 剤 投 与 講 習	2	2		1						
		大 規 模 災 害 広 域 応 援 現 場 指 揮 課 程									1	1
道 係 M C 関	ビ デ オ 硬 性 喉 頭 鏡 講 習			2	2	4	2	2		1	2	
	処 置 拡 大 2 行 為 講 習					4	4	4	2	2	2	
消 防 学 校 等 札 幌 市	救 急 救 命 士 養 成 課 程	1	1	1	1	1	1	1			1	
	指 揮 隊 長 研 修			1		1		1	1			
	指 揮 隊 員 研 修					1						
行 政 機 関 研 修	市 町 村 職 員 中 央 研 修 所 全 国 市 町 村 国 際 文 化 研 修 所	2		3	1	1	2	1		1	1	
	北 海 道 市 町 村 職 員 研 修 セ ン タ ー	4		3	3	5	7	3	3	6	8	
	札 幌 市 自 治 研 修 セ ン タ ー (札 幌 広 域 圏 組 合 共 同 研 修)	5	2	1						7	3	
合 計		25	15	21	20	34	32	32	22	34	30	

予 防 編



通 常 点 検

危険物施設状況

(施設数)

施設別		地区別	消 防 署			合 計
			江 別	野 幌	大 麻	
製 造 所						
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所		13	5	2	20
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		27	13	2	42
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		9	3	1	13
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		68	63	43	174
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所				1	1
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		35	17	8	60
	屋 外 貯 蔵 所		3	2		5
取 扱 所	給 油 取 扱 所		14	17	4	35
	一 般 取 扱 所		29	24	13	66
	販 売 取 扱 所					
合 計			198	144	74	416

危険物施設の許可・承認状況

(件)

施設別		許 可 承 認 別		設 置		変 更		完 成 検 査 前 検 査	仮 使 用	仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱	合 計
		許 可	承 認	許 可	完 成	許 可	完 成				
製 造 所											
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	1			2						3
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	1				1	1				3
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所										
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所					1	1				2
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所										
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	4			4	8	8				24
	屋 外 貯 蔵 所	1			1	1	1				4
取 扱 所	給 油 取 扱 所					2	2		2		6
	一 般 取 扱 所										
	販 売 取 扱 所										
合 計		7			7	13	13		2		42

建築物確認申請消防同意処理状況

(件)

項目	区分	合計	新築	増築	改築	その他	耐火	準耐火	その他
	1	イ							
ロ									
2	イ								
	ロ								
	ハ								
	ニ								
3	イ								
	ロ	3	3						3
4		2	2				1		1
5	イ								
	ロ	24	23			1	1	10	13
6	イ								
	ロ	9	8	1				5	4
	ハ	2	1			1			2
	ニ								
7		3		3				2	1
8		1		1			1		
9	イ								
	ロ								
10									
11		1		1					1
12	イ	4	3	1				1	3
	ロ								
13	イ								
	ロ								
14		8	7	1					8
15		5	3	1		1		1	4
16	イ	12	6	3		3	7	3	2
	ロ								
17									
その他		43	42	1				3	40
昇降機									
計画通知		5	4		1		2		3
小計		122	102	13	1	6	12	25	85
専用住宅		13	13				1		12
小計		13	13				1		12
合計		135	115	13	1	6	13	25	97

政令対象物施設状況・防火管理者選任状況

対 象 物		区 分	政 令 対 象 物	選任義務 対 象 物	選任済 対 象 物	消防計画 提出数
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	4	1	1	1
	ロ	公会堂、集会場	71	61	58	58
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブの類				
	ロ	遊技場、ダンスホール	5	5	5	5
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗の類				
	ニ	カラオケボックスその他遊興のために個室にて業務を営む店舗の類	1	1	1	1
3	イ	待合、料理店の類				
	ロ	飲食店	85	45	40	40
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	108	83	77	77
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	8	3	2	2
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	1,555	63	60	60
6	イ	病院、診療所、助産所	53	14	14	14
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、介護老人保健施設、重症心身障害児施設	43	32	32	32
	ハ	老人デイサービスセンター、保育所、児童養護施設、精神障害者社会復帰施設	82	31	31	31
	ニ	幼稚園、盲学校、ろう学校、養護学校	4	2	2	2
7		小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校の類	130	35	35	35
8		図書館、博物館、美術館の類	9	6	6	6
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類	1	1	1	1
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	5	4	4	4
10		車両の停車場、船舶又は航空機の発着場	3			
11		神社、寺院、協会の類	44	25	24	23
12	イ	工場、作業場	283	8	8	8
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ				
13	イ	自動車車庫、駐車場	41			
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫				
14		倉庫	267	6	6	6
15		前各項に該当しない事業場	255	42	42	42
16	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する複合用途防火対象物	209	142	131	131
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	122	38	38	38
16-2		地下街				
16-3		準地下街				
17		重要文化財、重要有形民俗文化財、史跡等の建造物	1	1	1	1
18		延長50メートル以上のアーケード				
19		市町村長の指定する山林				
20		自治省令で定める舟車（省令5条）				
合計			3,389	649	619	618

階層別・業態別棟数表

階層別 業態別		総棟数	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階
1項	イ													
	ロ	1		1										
2項	イ													
	ロ													
	ハ													
3項	イ													
	ロ	2	2											
4項														
5項	イ	1	1											
	ロ	296	151	85	13	5	10	3	13	12		1	2	1
6項	イ	7	4	1	2									
	ロ	4	2	2										
	ハ	2	1	1										
	ニ													
7項		25	16	4	1			1	2		1			
8項		2	2											
9項	イ													
	ロ													
10項														
11項		2	2											
12項	イ	8	3	2	2			1						
	ロ													
13項	イ													
	ロ													
14項		1	1											
15項		6	2	2	1	1								
16項	イ	25	9	8	4	1			2	1				
	ロ	12	9	2		1								
合計		394	205	108	23	8	10	5	17	13	1	1	2	1

各 種 届 出 状 況

区 分	件 数	区 分	件 数
消 防 用 設 備 等 着 工 届	75	ス ト ー プ ・ 煙 突 取 付 清 掃 業 届 出 書	
消 防 用 設 備 等 設 置 届	112	少 量 危 険 物 貯 蔵 取 扱 届	109
防 火 対 象 物 使 用 開 始 (内 容 変 更) 届	119	指 定 可 燃 物 貯 蔵 取 扱 届	11
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届	153	水 張 水 圧 検 査 ・ 検 査 申 請	1
防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届	1	圧 縮 ア セ チ レ ン ガ ス 等 貯 蔵 取 扱 届	17
消 防 計 画 作 成 (変 更) 届	199	集 合 煙 突 発 煙 試 験 申 請	
自 衛 消 防 組 織 設 置 (変 更) 届	3	ネ オ ン 管 灯 設 備 設 置 届	
燃 料 電 池 発 電 ・ 変 電 ・ 発 電 ・ 蓄 電 池 ・ 設 備 設 置 届	22	催 物 開 催 届	18
炉 ・ 厨 房 設 備 ・ ボ イ ラ ー 設 置 届	12	道 路 工 事 届 出 書	56
温 風 暖 房 機 設 置 届		劇 場 等 の 裸 火 使 用 ・ 危 険 物 持 ち 込 み 申 請 書	1
給 湯 湯 沸 設 備 設 置 届	8	水 素 ガ ス を 充 填 す る 気 球 の 設 置 届	
サ ウ ナ 設 備 設 置 届		煙 火 打 上 げ ・ 仕 掛 け 届	60
ヒ ー ト ポ ン プ 冷 暖 房 機 設 置 届		火 災 と ま ぎ ら わ し い 煙 等 届 出 書	85
乾 燥 設 備 設 置 届	5	訓 練 現 地 指 導 願 い	573
消 防 用 設 備 等 点 検 結 果 報 告 書	1,931	消 防 設 備 業 届 出 書	3
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書	82	液 体 燃 料 を 使 用 す る 設 備 ・ 器 具 取 付 点 検 整 備 業 届 出	
露 店 等 の 開 設 届 出 書	66	合 計	3,722

民間防火組織等状況

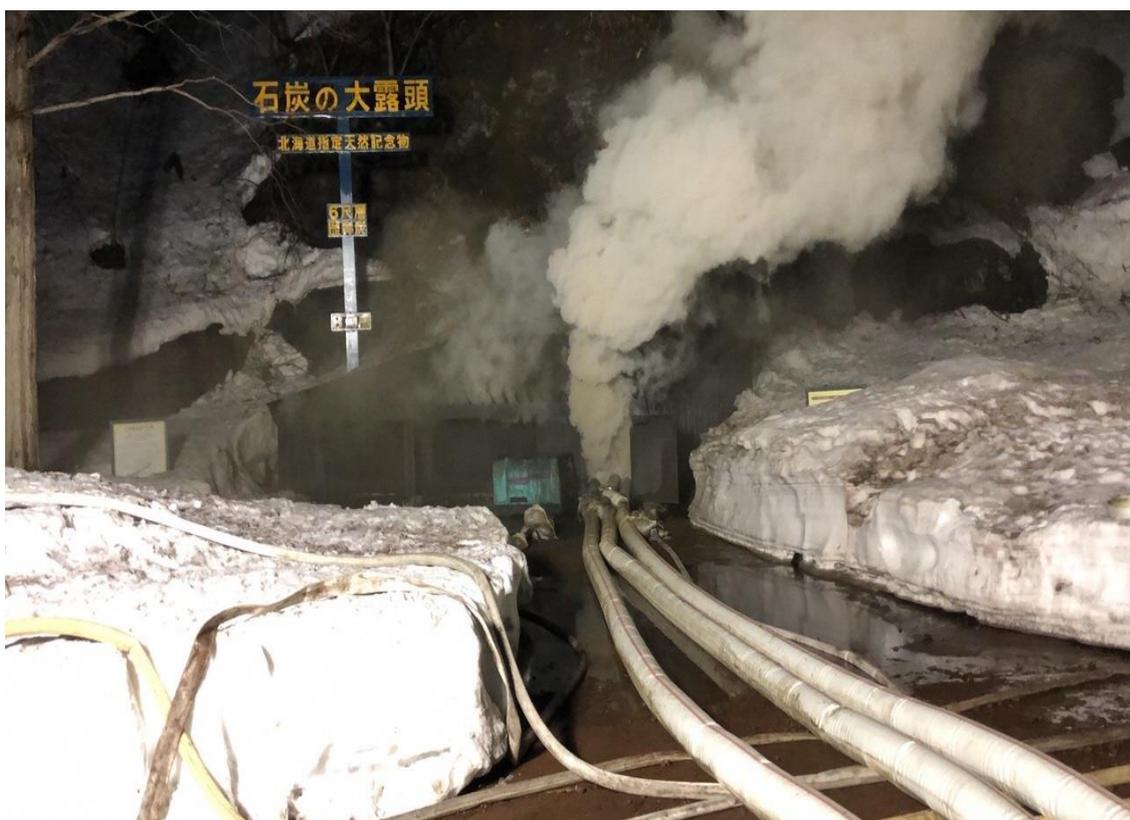
団 体 名	会員数
幸 町 少 年 防 火 ク ラ ブ	60
上江別自治連合会ジュニア消防クラブ	0
幸 町 女 性 防 火 ク ラ ブ	80
上 江 別 第 一 自 治 会 防 火 部	26
認定こども園大麻まんまるこども園幼年消防クラブ	169
江別市あかしや保育園幼年消防クラブ	103
認定こども園もりのひだまり幼年消防クラブ	133
江別市やよい保育園幼年消防クラブ	120
あすかの森認定こども園幼年消防クラブ	84
認定こども園 第2大麻こども園幼年消防クラブ	183
北 光 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	26
江別大谷幼稚園幼年消防クラブ	86
認定こども園 若葉幼稚園幼年消防クラブ	98
江別あかしや幼稚園幼年消防クラブ	114
愛 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	141
わかば保育園幼年消防クラブ	129
誠 染 保 育 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	71
上 江 別 幼 稚 園 幼 年 消 防 ク ラ ブ	89
認定こども園 あげぼの幼年消防クラブ	210

団 体 名	会員数
江別市よつば保育園幼年消防クラブ	150
江別市防火管理者連絡協議会	167
江 別 市 危 険 物 安 全 協 会	108
野 幌 森 林 自 衛 消 防 隊	19
江 北 地 区 自 衛 消 防 隊	68
24団体	2,434

火災予防各種行事实施状況

行 事 名	期 間	概 要
文化財防火デー	1月25日	消防訓練・防火査察 ～ 「江別市郷土資料館」にて通報・初期消火・避難誘導訓練を実施後に防火査察を実施
春の火災予防運動	4月20日 ～ 4月30日	火災予防啓発活動 ～ 「トンデンファーム」にて消防車両の展示、煙体験、住宅用火災警報器の実演等をはじめとしたイベントを開催 職員の意識及び士気の向上 ～ 通常点検を実施 幼年消防クラブ入団式 ～ 市内保育園・幼稚園の新入園児がクラブ員として入団 地域に密着した広報 ～ 女性消防団員による一人暮らし高齢者宅への防火訪問を実施
危険物安全週間	6月2日 ～ 6月8日	危険物安全週間研修会 ～ 危険物施設における震災時の対応について、知識の普及啓発を図るための研修会を開催 チラシ等の配布 ～ 市内事業所へリーフレット等を配布し、事故防止対策の徹底を啓発
消防フェスティバル	8月3日	消防フェスティバルの開催 ～ 「イオン江別店」にて消防車両の展示・放水体験・煙体験等をはじめとしたイベントを開催
秋の火災予防運動	10月15日 ～ 10月31日	住宅防火アドバイザー研修会の開催 ～ 家庭内や身の回りにある出火危険とそれらへの対策について、再現実験をメインとした研修会を市民向けに開催 飲食店ビル等合同消防訓練 ～ 飲食店ビルの経営者・従業員を対象に訓練を実施 自衛消防実務研修会 ～ 江別市防火管理者連絡協議会及び江別市危険物安全協会の会員を対象に自衛消防実務研修会を開催 移動タンク貯蔵所立入検査 ～ 江別警察署と合同で江別市農村環境改善センターで実施 地域に密着した広報 ～ 女性消防団員による一人暮らし高齢者宅への防火訪問を実施
歳末特別火災予防運動	12月20日 ～ 12月31日	歳末特別査察 ～ 「江別蔦屋書店」にて実施 理美容組合による火災予防広報 ～ 市内41店舗の理容・美容店の協力により利用客へリーフレットを配布 防火カレンダーの配布 ～ 防火カレンダーを作成し、事業所・自治会集会場へ配布 学生による火災予防広報 ～ JR江別駅・高砂駅にて江別高校野球部員が広報物を配布 表示広報 ～ 消防庁舎にて防火イルミネーションを設置
その他	随時	◆高齢者世帯見回り広報◆ 火災予防運動期間中に江別市民生委員児童委員の高齢者世帯見回り活動に同行し、防火相談や住宅用火災警報器の適正維持管理についての説明を実施 ◆住宅用火災警報器設置推進関係◆ 市内の各種イベントにおける住宅防火展開催のほか、戸別訪問によりリーフレットやティッシュを配布 ◆火災予防広報◆ 災害案内ダイヤルの平常時案内を火災予防運動期間中のみ火災予防啓発用に変更 ◆遊戯施設での文字広報◆ 火災予防運動期間中に市内遊戯施設の電光掲示板を活用した文字広報を実施 ◆掲示物広報◆ 火災予防運動期間中に市内各所へ防火のぼり・垂幕・横断幕等を掲示 ◆高齢者クラブを対象とした出前講座の開催◆ 暮らしの中に潜む出火危険や対応方法に関する意識啓発のための出前講座を開催 ◆防火クラブを対象とした研修会等の開催◆ 消防に対する更なる理解と関心を深め、防火防災意識を啓発するために視察研修を開催 ◆小学生を対象とした「消防教室」の開催◆ 早期からの防火防災意識を啓発し、地域における次世代の防災リーダーを育成するための教室を開催

警 防 編



夕張市石炭博物館模擬坑道火災

(江別市消防本部第一次応援派遣隊が撮影)

当市は 4/18～5/5 まで 6 隊 27 名を派遣

消 防 自 動 車 等 の 現 勢

配置	区分	呼称名	種 別	車 名	積 載 水 量 (L)	乗 車 定 員 (人)	購入年月	特 記
消防本部 消防署		1 0 4号車	化学消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H29.02	A-2級
		1 0 8号車	小型動力ポンプ付水槽車	日 野	10,000	3	H9.12	
		1 0 9号車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	3,000	6	H11.12	A-2級
		3 0 1号車	救 急 自 動 車	日 産		7	H22.01	
		3 0 3号車	救 急 自 動 車	トヨタ		8	H23.11	
		3 0 5号車	救 急 自 動 車	日 産		7	H29.12	
		5 0 2号車	はしご付消防自動車	日 野		6	H30.10	先端屈折式
		5 0 4号車	救 助 工 作 車	日 野		6	H28.03	
		6 0 4号車	災 害 情 報 支 援 車	トヨタ		5	H26.10	
		6 0 5号車	広 報 車	トヨタ		9	H26.10	
		6 0 6号車	連 絡 車	日 産		5	H24.07	
		6 0 7号車	連 絡 車	ダイハツ		4	H23.02	
		8 0 1号車	災 害 支 援 車	トヨタ		2	H10.09	
		9 0 1号車	指 揮 車	トヨタ		4	H29.12	
江 別 出 張 所		1 0 5号車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H27.01	A-2級
		3 0 2号車	救 急 自 動 車	トヨタ		8	H25.04	
		7 0 3号車	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		5	H31.01	
野 幌 出 張 所		1 0 7号車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H20.12	A-2級
		7 0 5号車	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		5	R1.09	
大 麻 出 張 所		1 0 3号車	水槽付消防ポンプ自動車	日 野	2,000	6	H21.08	A-2級
		7 0 6号車	小型動力ポンプ付積載車	トヨタ		6	H28.12	
中 央 分 団		2 0 2号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		7	H7.02	A-2級
野 幌 分 団		2 0 3号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		6	H25.12	A-2級
北 部 分 団		2 0 4号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		6	H30.01	A-2級
大 麻 分 団		2 0 7号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ		6	H7.08	A-1級
上 江 別 分 団		7 0 4号車	小型動力ポンプ付積載車	三 菱		8	H1.07	
東 野 幌 分 団		2 0 6号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	三 菱		6	H2.03	A-2級
豊 幌 分 団		2 0 5号車	消 防 ポ ン プ 自 動 車	日 野		6	H27.03	A-2級
東 部 分 団		7 0 2号車	小型動力ポンプ付積載車	三 菱		8	H2.07	
女 性 分 団		6 0 8号車	連 絡 車	日 産		4	H28.12	
自 衛 消防隊	江 北	7 0 1号車	小型動力ポンプ付積載車	スズキ		4	H26.12	

消 防 水 利 設 置 状 況

区分 地区別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m ³ 未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
江 別 地 区	331	107	44	17	3	502	2	7
野 幌 地 区	246	5	36	34	2	323		4
大 麻 地 区	164	13	16	5	1	199	1	4
合 計	741	125	96	56	6	1,024	3	15
	866		152				18	

市街地・準市街地等における消防水利の設置状況

区分 地域別	消 火 栓		防 火 水 槽 等		緊急 貯水槽	計	40m ³ 未満の 防火水槽等	
	公 設	私 設	公 設	私 設	公設		公 設	私 設
市 街 地	701	123	91	39	6	960	3	9
準 市 街 地	20		3			23		
その他の地域	20	2	2	17		41		6
合 計	741	125	96	56	6	1,024	3	15
	866		152				18	

災害等総括編



火災現場活動状況

月 別 災 害 等 受 付 状 況

(件)

月 別	火 災	救 急	救 助	他の災害	問 合	通報訓練	悪 戯	間 違 い	そ の 他	転 送	合 計
1月	5	446	8	42	41	29		25	54	6	656
2月	10	384	14	48	19	41		23	90	6	635
3月	4	333	6	27	17	72		21	64	2	546
4月	8	391	3	30	50	42	1	22	90	4	641
5月	2	382	9	38	50	80	3	26	80	6	676
6月	5	360	7	36	38	92		35	130	7	710
7月	9	402	5	25	51	75	1	36	43	9	656
8月	5	442	4	33	50	63	2	27	68	6	700
9月	5	407	9	25	30	109	1	33	108	6	733
10月	3	405	6	28	43	138	1	35	68	5	732
11月	15	399	9	36	45	101	2	35	239	1	882
12月	5	449	8	32	51	49		38	97	16	745
合 計	76	4,800	88	400	485	891	11	356	1,131	74	8,312

※ 本表は、119番通報（NTT回線、IP回線、携帯電話）、緊急通報装置、専用回線、一般加入電話、駆け込み、直接覚知、消防無線、FAX、Eメールによる災害等の通報受付件数を集計したものである。

過 去 5 か 年 災 害 受 付 状 況

(件)

	火 災	救 急	救 助	他の災害	問 合	通報訓練	悪 戯	間 違 い	そ の 他	転 送	合 計
平成27年	66	3,963	92	415	627	953	5	362	823	48	7,354
平成28年	79	4,161	88	483	487	1,411	7	317	1,029	47	8,109
平成29年	46	4,261	95	424	440	1,124	7	326	1,129	59	7,911
平成30年	66	4,655	73	546	543	759	8	263	1,097	66	8,076
令和元年	76	4,800	88	400	485	891	11	356	1,131	74	8,312

災害等出動状況

種別 分類	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
出 動 件 数	40	5,032	88	183	297	16	5,656
出 動 隊 数	220	5,032	366	194	611	20	6,443

月別災害等出動状況

(件)

種別 月別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
1 月	3	479	7	11	42	1	543
2 月	2	405	12	19	33	10	481
3 月	4	355	6	17	24	1	407
4 月	6	403	4	14	24		451
5 月		402	7	18	24	2	453
6 月	5	374	7	21	17	1	425
7 月	4	414	5	12	18		453
8 月	4	461	5	14	21	1	506
9 月	3	429	9	10	23		474
10 月	3	419	7	19	15		463
11 月	4	425	9	19	22		479
12 月	2	466	10	9	34		521
計	40	5,032	88	183	297	16	5,656

※ 出動指令に基づく災害等の出動状況である。

過去5か年災害等出動状況

(件)

種別 年別	火 災	救 急	救 助	警 戒	救急支援	風水害等 自然災害	計
平成27年	29	4,367	85	206	351		5,038
平成28年	32	4,537	95	216	371	16	5,267
平成29年	22	4,532	108	213	310	4	5,189
平成30年	37	4,898	90	234	357	59	5,675
令和元年	40	5,032	88	183	297	16	5,656

※ 令和元年から出動指令に基づく災害等の出動状況である。

警戒等出動状況

種別 分類	警 戒						風水害等 自然災害	計
	火気設備 等事故	燃焼事故	警報設備等	油流出	危険排除	その他		
出動件数	4	3	44	87	20	25	16	199
出動隊数	4	3	44	88	28	27	20	214

地区別警戒等出動状況

(件)

種別 地区別	警 戒						風水害等 自然災害	計
	火気設備 等事故	燃焼事故	警報設備等	油流出	危険排除	その他		
江別地区	3	1	18	38	6	11	7	84
野幌地区	1	1	15	30	12	12	5	76
大麻地区		1	11	19	2	2	4	39
計	4	3	44	87	20	25	16	199

過去5か年警戒等出動状況

(件)

種別 年別	警 戒						風水害等 自然災害	計
	火気設備 等事故	燃焼事故	警報設備等	油流出	危険排除	その他		
平成27年	9	4	35	70	49	39		206
平成28年	7	14	44	75	38	38	16	232
平成29年	2	8	50	84	33	36	4	217
平成30年	1	10	59	71	50	43	59	293
令和元年	4	3	44	87	20	25	16	199

救急支援出動状況

種別 分類	救 急 支 援				計
	CPA (疑い含む)	搬送困難	活動障害	その他	
出動件数	228	13	27	29	297
出動隊数	457	26	70	58	611

地区別救急支援出動状況

(件)

種別 地区別	救 急 支 援				計
	CPA (疑い含む)	搬送困難	活動障害	その他	
江別地区	96	4	6	7	113
野幌地区	76	5	11	12	104
大麻地区	56	4	10	10	80
計	228	13	27	29	297

過去5か年救急支援出動状況

(件)

種別 年別	救 急 支 援				計
	CPA (疑い含む)	搬送困難	活動障害	その他	
平成27年	274	37	26	14	351
平成28年	311	22	27	11	371
平成29年	258	24	22	6	310
平成30年	295	32	18	12	357
令和元年	228	13	27	29	297

北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況

1. 応援出動状況

分類 種別	件数	出動車両台数	出動人員	備考
救急出動	5	6	19	
救助出動	2	8	28	
火災出動	4	16	60	
警戒出動				
風水害等 自然災害出動				
計	11	30	107	

(応援先内訳)

夕張市消防本部	1件	札幌市消防局	5件
岩見沢地区消防事務組合	1件	石狩北部地区消防事務組合	4件

2. 被応援状況

分類 種別	件数	出動車両台数	出動人員	備考
救急出動	9	9	27	
救助出動	1	3	8	
火災出動	3	7	16	
警戒出動	2	2	8	
計	15	21	59	

(要請先内訳)

札幌市消防局	9件	石狩北部地区消防事務組合	3件
北広島市消防本部	1件	南空知消防組合	2件

航空隊応援要請状況

(件)

要請内訳 航空隊別	要請 件数	内訳					
		急病	交通事故	一般負傷	労働災害	火災	その他
ドクターヘリ	15	3	3	1	5		3
北海道防災ヘリ							
その他							
計	15	3	3	1	5		3

火 災 編



建 物 火 災 現 場

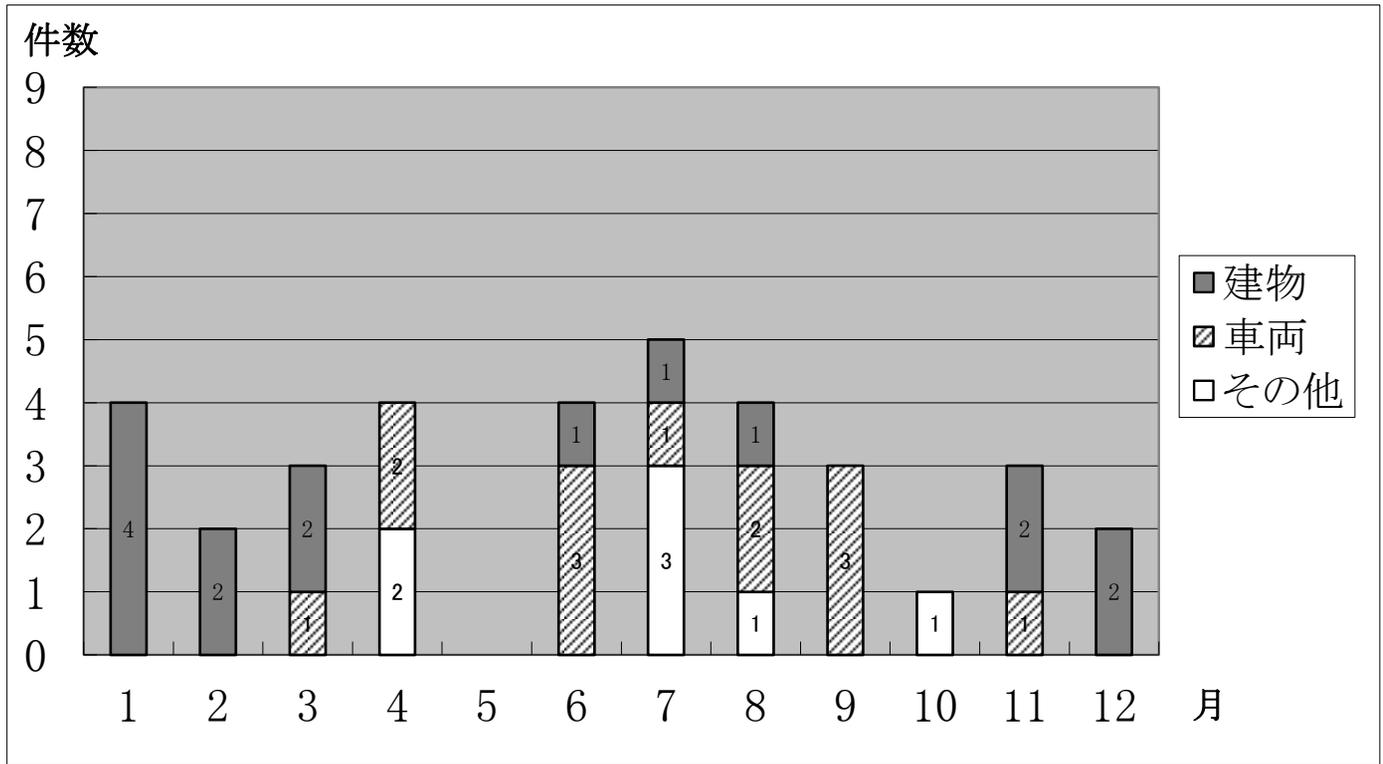
火 災 発 生 状 況

区 分	内 訳	
出 火 件 数	建物火災	15件
	車両火災	13件
	林野火災	0件
	その他火災	7件
	合 計 35件	
焼 損 棟 数	全焼4棟・半焼1棟・部分焼4棟・ぼや12棟・爆発0棟 合計21棟	
建物焼損面積	焼 損 床 面 積	507㎡
	焼 損 表 面 積	31㎡
林野焼損面積	0.00ha(0a)	
損 害 額	建物の損害	29,696千円
	車両の損害	1,772千円
	林野の損害	0千円
	その他の損害	2,042千円
	合 計 33,510千円	
死 傷 者 数	死者1人・負傷者4人	
出火1件当り 焼 損 面 積	約34㎡	
出火1件当り 損 害 額	約958,429円	

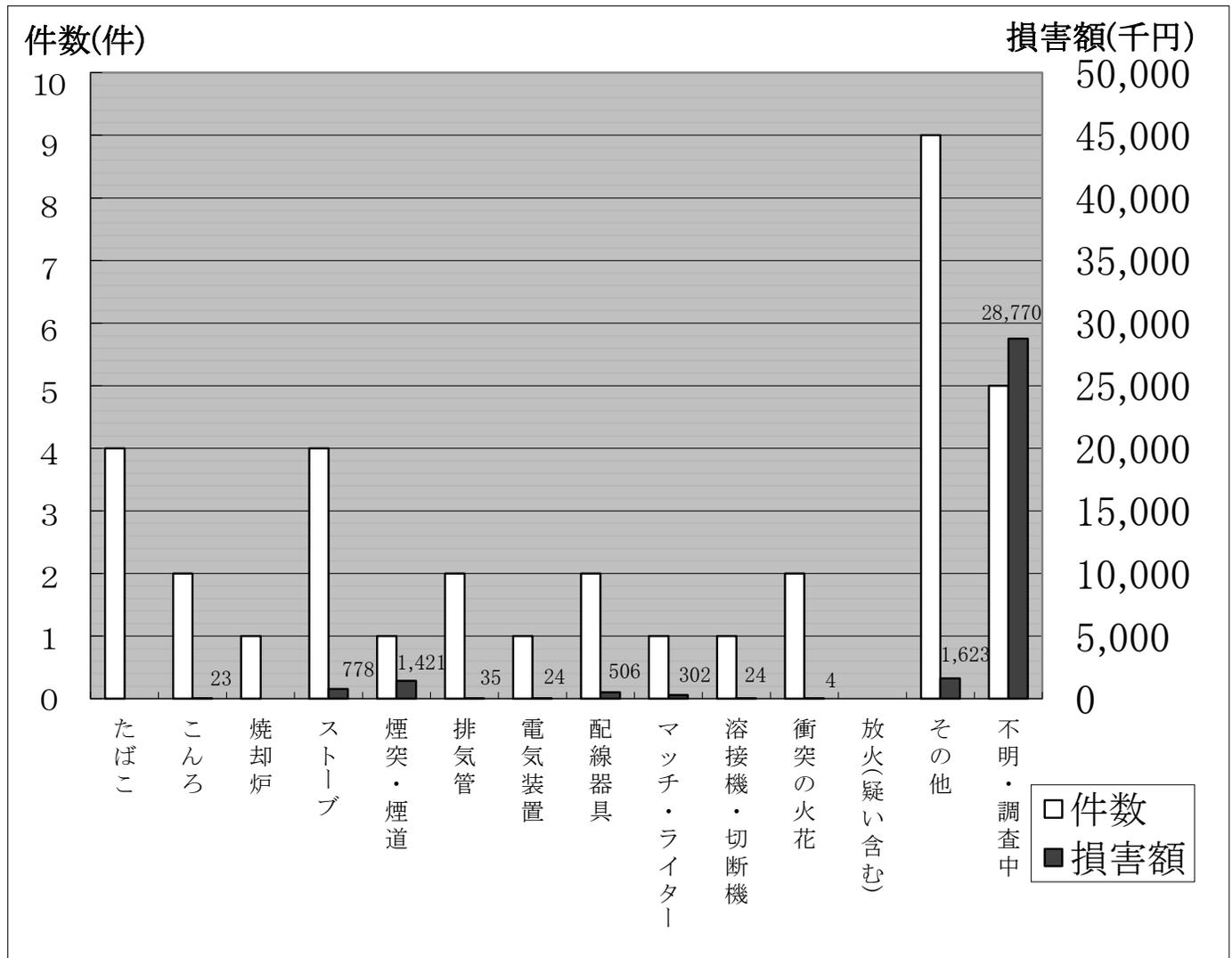
月 別 火 災 状 況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	
出 火 件 数	建 物	全 焼		1								1	1	3	
		半 焼										1		1	
		部分焼		1					1						2
		ぼ や	4		2			1		1				1	9
		爆 発													
		計	4	2	2			1	1	1			2	2	15
	林 野 車 両 船 舶 航 空 機 そ の 他	林 野													
		車 両			1	2		3	1	2	3		1		13
		船 舶													
		航 空 機													
		そ の 他				2			3	1		1			7
計	4	2	3	4		4	5	4	3	1	3	2	35		
焼 損 棟 数	全 焼		2									1	1	4	
	半 焼											1		1	
	部分焼		2					1				1		4	
	ぼ や	4		2			1		1			2	2	12	
	爆 発														
	計	4	4	2			1	1	1			5	3	21	
焼損床面積 m ²		1	150									206	150	507	
焼損表面積 m ²		1	21					3				5	1	31	
林野焼損面積 a															
り 災 世 帯	全 損											1	1	2	
	半 損														
	小 損	4					1	1				2	2	10	
	計	4					1	1				3	3	12	
り 災 人 員		10					1	3				10	9	33	
死 傷 者 等	死 者												1	1	
	負 傷 者	1								1			2	4	
	計	1								1			3	5	
焼 損 見 積 額 千 円	建 物	138	428	51			15	30	24			2,081	26,929	29,696	
	林 野														
	車 両				608		539	142	44	369		70		1,772	
	船 舶														
	航 空 機														
	そ の 他				1,152		836				24	30		2,042	
	計	138	428	51	1,760		1,390	172	68	369	24	2,181	26,929	33,510	

月別出火件数



出火原因別件数と火災損害額



過去5か年原因別火災発生状況

原因別	年別		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額
たばこ	1	193			1		5	2,653	4			
こんろ	2	125	3	35	1	955	3	22	2	23		
かまど												
風呂かまど												
炉			1	430								
焼却炉							1	4	1			
ストーブ	3	8,056	1	384	4	10,709	2	33	4	778		
こたつ												
ボイラー			1	20								
煙突・煙道			1	145					1	1,421		
排気管	1	20	1	701	2	310			2	35		
電気機器	1	19			2	342	2	3				
電気装置									1	24		
電灯・電話等の配線	2	576	1	193	1	18	1	4				
内燃機関					1	196						
配線器具	1				1	642	4	3,030	2	506		
火あそび	1	6,019										
マッチ・ライター									1	302		
たき火												
溶接機・切断機	1	59							1	24		
灯火	1	71					1	25				
衝突の火花									2	4		
取灰							1	7				
火入れ							1					
放火	1	1,127	1	9			4	199				
放火の疑い	1	3,074	1	138	1	1,254	1					
その他	4	18,624	8	470	3	53	8	3,143	9	1,623		
不明・調査中	8	6,867	13	41,332	5	1,455	2	2,355	5	28,770		
合計	28	44,830	32	43,857	22	15,934	36	11,478	35	33,510		

損害額単位～千円

用途別火災原因調査

区分	火元用途	出火箇所	発火源	経過	着火物	
建築物火災	専用住宅	台所	ガステーブル	放置する、忘れる	動植物油類	
		居室	プラグ	スパークする(トラッキング)	椅子、ソファ	
		居室	石油・ガストーブ(開放式)	考え違いにより使用を誤る	第二石油類(灯油)	
		床下	ガスバーナー	本来の用途以外の不適の用に用いる	土台	
		居室	ストーブの火の粉	火の粉が散る遠くへ飛火する	ごみ屑	
		居室	不明	不明	不明	
		台所	金属と金属との衝撃火花	引火する	LPG(スプレー用)	
	共同住宅	台所	ガスこんろ	過熱する	動植物油類	
		洗たく場	不明	不明	衣類	
	工場	作業場、工場	配電線(低圧)	絶縁劣化による発熱	木屑、かんな屑、のこぎり屑	
		作業場、工場	モーター	摩擦により発熱する	繊維製品(シート)	
	倉庫	玄関	不明	不明	不明	
		一般倉庫	冷暖房機	電線が短絡する	不明	
	納屋	一般倉庫	煙突	高温物が触れる	木ずり	
	生活介護事業所	居室	ストーブ(半密閉式)	考え違いにより使用を誤る	袋及び紙製品	
	車両火災	貨物車	その他(右後輪部)	不明	不明	タイヤ
			外周部	交通機関内配線(その他)	スパークする	電気配線類
			外周部	ブレーキライニング	摩擦により発熱する	タイヤ
運転席			ライター	引火する	LPG(カセット用)	
乗用車		その他(ダッシュボード内部)	交通機関内配線(その他)	絶縁劣化による発熱	その他(スイッチカバー)	
		機関部(室)	交通機関内配線(その他)	絶縁劣化による発熱	その他(樹脂製部品)	
		運転席	交通機関内配線(その他)	機械が故障を起こす	その他(樹脂製部品)	
		機関部(室)	排気管	可燃物が動いて火源に触れる	不明	
特殊車		荷台	金属と金属との衝撃火花	着火物が漏えいする	LPG(スプレー用)	
		機関部(室)	不明	不明	不明	
その他		機関部(室)	交通機関内配線(その他)	不明	その他(油かす)	
		機関部(室)	交通機関内配線(その他)	不明	その他(配管被覆)	
		機関部(室)	交通機関内配線(その他)	不明	その他(油かす)	
その他火災	その他	敷地内(法面)	たばこ	不適當なところに捨て置く	枯草	
		敷地内	ごみ焼却炉の火の粉	火の粉が散る遠くへ飛火する	木切れ	
		敷地内	たばこ	不適當なところに捨て置く	枯草	
		植樹帯	たばこ	不適當なところに捨て置く	その他(ウッドチップ)	
		草地	たばこ	不適當なところに捨て置く	枯草	
		敷地内	排気管	高温物が触れる	枯草	
		敷地内(廃車)	アセチレンガス溶接機・切断機	本来の用途以外の不適の用に用いる	その他(樹脂製部品)	

火災覚知別状況

(件)

種別 件数	火災報知 専用電話 (加入)	火災報知 専用電話 (携帯)	加入電話 (固定)	加入電話 (携帯)	警察電話	駆け付け 通報	事後聞知	その他	合計
件数	5	22	2		2		4		35

曜日別・出火時間火災状況

(件)

曜日 時間	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
0～1									
1～2				1					1
2～3									
3～4	1								1
4～5									
5～6									
6～7									
7～8							1		1
8～9						1			1
9～10				1		1			2
10～11	1	1				2			4
11～12		1		1			1		3
12～13	1		1		1	1			4
13～14				2			2		4
14～15		1			2				3
15～16	1	1							2
16～17				1	2				3
17～18	1				1	1			3
18～19			1		1	1			3
19～20									
20～21									
21～22									
22～23									
23～24									
不明									
合計	5	4	2	6	7	7	4		35

救 助 編



鉄 塔 か ら の 救 出 活 動

月別救助出動状況

(件)

種別 月別	出動 件数	事 故 種 別										救 助 人 員	
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 及 び	破 裂 事 故		そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外										
1月	7			1				6				3	
2月	12			5				1			6	4	
3月	6			2				4				6	
4月	4			1				3				2	
5月	7			3				1	1		2	6	
6月	7			2				3			2	4	
7月	5			2				3				5	
8月	5			2				2	1			1	
9月	9			2				4	2		1	6	
10月	7			3				3	1			4	
11月	9			4			1	3			1	1	
12月	10			3				7				3	
計	88			30			1	40	5		12	45	

過去5か年救助出動状況

(件)

種別 年別	出動 件数	事 故 種 別										救 助 人 員	
		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故	風 水 害 等	機 械 に よ る 事 故	事 建 物 等 に よ る 事 故	酸 ガ ス 事 及 び	破 裂 事 故		そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外										
平成27年	85	3		20	3		1	3	4		51	41	
平成28年	95			34	2	1	1	2	1		54	45	
平成29年	108	2		34	2		5	34	4		27	61	
平成30年	90	1		16	1	1	4	39	9		19	56	
令和元年	88			30			1	40	5		12	45	

※統計方法の見直しをしたため、令和元年より火災出動件数を除く。

地区別救助出動状況

(件)

地区別	種別	出動件数	事故種別									救助人員		
			火災		交通事 故	水難事 故	自然災害事 故等	風水害事 故	機械による事 故	建物等による事 故	酸ガス事 故及び		破裂事 故	その他の事 故
			建物	建物以外										
江別地区		25			9				11	3		2	16	
野幌地区		37			12			1	16	1		7	16	
大麻地区		26			9				13	1		3	13	
計		88			30			1	40	5		12	45	

発生場所別救助出動状況

(件)

発生場所別	種別	出動件数	事故種別									救助人員		
			火災		交通事 故	水難事 故	自然災害事 故等	風水害事 故	機械による事 故	建物等による事 故	酸ガス事 故及び		破裂事 故	その他の事 故
			建物	建物以外										
屋内	住居	42							37	3		2	20	
	その他の屋内	5			1			1	2			1	3	
屋外	道路	高速自動車国道	1		1								2	
		その他の道路	32		27					1		4	15	
	水面	内水面												
		外水面												
	その他の屋外	8		1				1	1		5	5		
地下														
その他														
計		88			30			1	40	5		12	45	

※統計方法の見直しをしたため、令和元年より火災出動件数を除く。

救 急 編



救 急 活 動 訓 練

救 急 活 動

出場件数	傷病者搬送件数	不搬送件数	医師搬送	資器材搬送	傷病者搬送人員
5,032	4,668	364			4,709

月 別 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 月別	出 場 件 数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1月	479	3			14	1	1	56	3	2	365	27			7
2月	405	2	3		33	6		64	3	3	264	24			3
3月	355	3			18	3	2	57	1		233	32			6
4月	403	2			25	3	4	51	1	5	264	43			5
5月	402				32	3	7	54	1	4	257	39			5
6月	374	5			18	4	7	49	1	5	244	38			3
7月	414	1			23	12	4	68	1	2	270	33			
8月	461	2			20	7	8	67		6	310	37			4
9月	429	4			26	3	6	72	2	2	275	35			4
10月	419	1			25	5	4	56	2	4	286	32			4
11月	425	4			31	3	5	64	1	2	275	39			1
12月	466	4			24	1	3	65	1	5	332	29			2
計	5,032	31	3		289	51	51	723	17	40	3,375	408			44

搬送人員	4,709	5			296	50	51	670	13	31	3,187	406			
------	-------	---	--	--	-----	----	----	-----	----	----	-------	-----	--	--	--

過 去 5 年 救 急 出 場 状 況

(件)

種別 年別	出 場 件 数	事 故 種 別														搬 送 人 員
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他	
平成27年	4,367	30		1	244	73	59	556	19	48	2,809	484			44	4,053
平成28年	4,537	34			273	132	54	562	10	53	2,921	449			49	4,250
平成29年	4,532	21		1	274	125	56	609	9	53	2,888	452			44	4,262
平成30年	4,898	33	6		226	41	64	689	22	51	3,288	425			53	4,570
令和元年	5,032	31	3		289	51	51	723	17	40	3,375	408			44	4,709

曜日別救急出場状況

(件)

種別 曜日	出場 件数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
月	734	5			37	7	2	96	2	11	509	60			5
火	727	1	3		41	5	4	119	3	3	470	72			6
水	714	6			40	10	6	104	3	3	479	55			8
木	743	5			55	9	3	105	1	7	483	70			5
金	682	5			38	11	5	95	2	8	437	74			7
土	733	3			41	6	13	98	6	6	504	49			7
日	699	6			37	3	18	106		2	493	28			6
計	5,032	31	3		289	51	51	723	17	40	3,375	408			44

時間別救急出場状況

(件)

種別 時間	出場 件数	事 故 種 別													
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
0～2	217	2			8	1		21	1	2	159	21			2
2～4	175	1			6			19	1	2	135	9			2
4～6	199	1			3			30	1	3	142	16			3
6～8	395	1			33	2		49	1	2	294	11			2
8～10	574	2			44	9	3	92	1	5	391	23			4
10～12	646	8			36	16	16	89		4	404	70			3
12～14	549	6			29	6	11	84	1	1	338	63			10
14～16	507	5			36	11	6	78	1	4	314	50			2
16～18	543	3	3		53	2	7	95	1	5	322	46			6
18～20	497	2			27	2	4	65	4	5	352	32			4
20～22	411				11	2	4	58	5	4	290	32			5
22～24	319				3			43		3	234	35			1
計	5,032	31	3		289	51	51	723	17	40	3,375	408			44

地区別救急出場状況

(件)

地区別	種別	出場 件数	事 故 種 別													
			火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
江別市		5,025	31	3		284	51	51	723	17	39	3,375	408			43
内 訳	江別	1,817	12			106	27	1	273	7	14	1,261	109			7
	野幌	2,006	14	1		111	19	24	279	7	16	1,253	264			18
	大麻	1,202	5	2		67	5	26	171	3	9	861	35			18
管外		7				5					1					1
計		5,032	31	3		289	51	51	723	17	40	3,375	408			44

高速自動車道救急出場状況

(件)

地区別	種別	出場 件数	事 故 種 別													
			火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
江別市		6				4						2				
内 訳	江別	1				1										
	野幌	4				2						2				
	大麻	1				1										
管外																
計		6				4						2				

年 齢 別 救 急 搬 送 人 員 調

(人)

種別 区分		事 故 種 別										計		
		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病		そ の 他	
													転 院 搬 送	そ の 他
新生児	生後28日未満							1			3	3		7
乳幼児	生後28日以上6歳以下				14			46	1		102	14		177
少年	7歳～17歳				30		24	20	1	2	57	8		142
成人	18歳～64歳	2			174	41	25	118	7	21	910	132		1,430
高齢者	65歳以上	3			78	9	2	485	4	8	2,115	249		2,953
不明														
計		5			296	50	51	670	13	31	3,187	406		4,709

年 齢 別 傷 病 程 度 別 搬 送 人 員 調

(人)

程度 区分		傷 病 程 度 別					計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
新生児	生後28日未満		2	2	3		7
乳幼児	生後28日以上6歳以下	1	2	50	124		177
少年	7歳～17歳		2	31	109		142
成人	18歳～64歳	16	99	451	864		1,430
高齢者	65歳以上	89	353	1,458	1,053		2,953
計		106	458	1,992	2,153		4,709

医 療 機 関 別 傷 病 者 搬 送 状 況

(人)

種別 告示別		急 病		交 通 事 故		一 般 負 傷		そ の 他		計	
		管 外	管 内	管 外	管 内	管 外	管 内	管 外	管 外	管 内	
救急告示医療機関	国立	50	50	1	1	2	2	8	8	61	61
	公立	512	27	27	7	112	7	120	32	771	73
	公的	63	63	1	1	3	3	14	14	81	81
	私的病 的診療所	2,372	1,263	256	121	510	247	384	231	3,522	1,862
	計	3,049	1,439	294	130	651	259	535	292	4,529	2,120
その他の医療機関	国立							2	2	2	2
	公立	5	4			1	1	4	4	10	9
	公的										
	私的病 的診療所	105	93			10	10	14	13	129	116
	計	138	107	2	1	19	12	21	19	180	139
計	国立	50	50	1	1	2	2	10	10	63	63
	公立	517	31	27	7	113	8	124	36	781	82
	公的	63	63	1	1	3	3	14	14	81	81
	私的病 的診療所	2,477	1,356	256	121	520	257	398	244	3,651	1,978
	計	3,187	1,546	296	131	670	271	556	311	4,709	2,259
その他の場所	臨時ヘリポート										
	その他										
計		3,187	1,546	296	131	670	271	556	311	4,709	2,259

救急隊員の行った応急処置件数

(人)

処置	種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
応急処置対象人員		3,180	291	663	552	4,686
止	血	27	10	48	12	97
固	定	21	114	96	45	276
人	工呼吸	21		4		25
心	マッサージ				1	1
	うち自動				1	1
心	肺蘇生	102	2	8	7	119
	うち自動	68		6	1	75
酸	素吸入	607	15	34	133	789
気	道確保	137	5	10	8	160
	経鼻エアウェイ					
	喉頭鏡・鉗子	5		6		11
	ラリングアルマスク等	74	2	3	4	83
	気管挿管	10		4		14
	うちビデオ硬性喉頭鏡	2				2
保	温	2,221	96	395	394	3,106
被	覆	18	38	143	33	232
在	宅療法継続	41		5		46
	点滴処置	1				1
	気管切開孔・人工肛門等の外瘻	4				4
	上記以外の処置	36		5		41
除	細動	14			3	17
静	脈路確保	119	4	9	6	138
	C P A 前	43	3	1	3	50
	C P A 後	76	1	8	3	88
血	糖測定	111	1	3	2	117
薬	剤投与	84	1	8	5	98
	アドレナリン	73	1	8	5	87
	エピペン					
	ブドウ糖溶液	11				11
その他の応急処置		5			1	6
血	圧測定	3,061	287	641	527	4,516
聴診器による聴取		980	90	107	127	1,304
血中酸素飽和度の測定		3,083	288	648	541	4,560
心	電図	2,042	60	180	215	2,497
	うち12誘導	45	1		2	48
計		12,694	1,011	2,339	2,060	18,104

※ 事故種別「その他」とは、火災、自然災害、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送の事案。

応急手当普及講習会の開催状況

1. 講習別受講者数

種 別		開催回数	受講者数	内 容	
救命講習	普通救命講習	I	48回	1,329人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 (主に成人に対する方法)
		II	12回	338人	上記講習に効果確認を加えた講習
		III	3回	62人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 (主に小児、乳児、新生児に対する方法)
		計	63回	1,729人	
	上級救命講習	2回	56人	応急手当の重要性、その他応急手当 救命に必要な応急手当 (成人、小児、乳児、新生児に対する方法)	
救命入門コース	25回	1,142人	応急手当の重要性、救命に必要な応急手当 (主に成人に対する方法、実技のみ)		
一般救急講習	38回	1,546人	応急手当(市民からの要請に基づく項目・時間 により実施する講習)		

2. 過去年別 応急手当普及講習会実施状況

(回/人)

		平成27年以前	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	計	
普通救命講習	I	回数	979	52	49	56	48	1,184
		男性	11,069	761	738	781	694	14,043
		女性	12,791	654	610	790	635	15,480
		合計	23,860	1,415	1,348	1,571	1,329	29,523
	II	回数	124	8	13	16	12	173
		男性	1,093	75	142	182	176	1,668
		女性	762	49	108	180	162	1,261
		合計	1,855	124	250	362	338	2,929
	III	回数	11	5	5	5	3	29
		男性	24	4	12	6	8	54
		女性	168	62	66	70	54	420
		合計	192	66	78	76	62	474
	計	回数	1,114	65	67	77	63	1,386
		男性	12,186	840	892	969	878	15,765
		女性	13,721	765	784	1,040	851	17,161
		合計	25,907	1,605	1,676	2,009	1,729	32,926
上級救命講習	回数	30	2	2	1	2	37	
	男性	239	5	13		16	273	
	女性	192	28	38	39	40	337	
	合計	431	33	51	39	56	610	
救命入門コース	回数	32	10	11	25	25	103	
	男性	297	112	190	494	591	1,684	
	女性	325	123	228	507	551	1,734	
	合計	622	235	418	1,001	1,142	3,418	
救命講習	回数	1,176	77	80	103	90	1,526	
	男性	12,722	957	1,095	1,463	1,485	17,722	
	女性	14,238	916	1,050	1,586	1,442	19,232	
	合計	26,960	1,873	2,145	3,049	2,927	36,954	
一般救急講習	回数	731	29	43	44	38	885	
	人数	34,116	1,588	1,767	1,924	1,546	40,941	

3. 救命講習受講者年代別内訳(一般救急講習を除く)

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	計
男性	1,014	146	57	91	95	59	23		1,485
女性	1,017	107	57	129	98	30	4		1,442
計	2,031	253	114	220	193	89	27		2,927

消防団編



江別市消防出初式

消 防 団 員 数 状 況

(人)

階級 区分	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	
								女性団員	
団 本 部	1	3							4
中 央 分 団			1	1	1	5	14		22
野 幌 分 団			1	1	1	5	15		23
北 部 分 団			1	1	1	5	12		20
大 麻 分 団			1	1	1	5	13		21
上 江 別 分 団			1	1	1	5	15		23
東 野 幌 分 団			1	1	1	5	13		21
豊 幌 分 団			1	1	1	5	11		19
東 部 分 団			1	1	1	5	12		20
女 性 分 団			1	1	1	5	15	23	23
計	1	3	9	9	9	45	120		196
定 数	1	3	9	9	9	45	124		200

消 防 団 員 階 級 別 勤 続 年 数 状 況

(人)

階級 年数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	計	
								女性団員	
5 年 未 満							56	5	56
5 年 以 上 10 年 未 満					1	12	37	11	50
10 年 以 上 15 年 未 満				3	1	5	10	2	19
15 年 以 上 20 年 未 満			1		3	9	10	2	23
20 年 以 上 25 年 未 満					1	5	1		7
25 年 以 上 30 年 未 満			3	1		8	2	3	14
30 年 以 上	1	3	5	5	3	6	4		27
女性団員			1	1	1	5	15	23	
計	1	3	9	9	9	45	120		196

※ 平均勤続年数 12.9年

消 防 団 員 研 修 派 遣 状 況

(人)

年度 課程	平成 23	平成 24	平成 25	平成 26	平成 27	平成 28	平成 29	平成 30	令和 元
	消防大学校 消防団長科						1		
北海道消防学校	幹部教育 指揮幹部科				1	1	1	1	1
	基礎教育				1	1	1		
	特別教育 女性団員課程				1	1		1	1
	北海道消防協会 指導員研修				1			1	1

消 防 団 階 級 別 年 齢 状 況

(人)

階級 年齢	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	女性団員	計
	19 歳 以 下								
20 歳 ～ 24 歳							3		3
25 歳 ～ 29 歳							10		10
30 歳 ～ 34 歳						1	10		11
35 歳 ～ 39 歳						3	16	1	19
40 歳 ～ 44 歳				1	2	6	49	7	58
45 歳 ～ 49 歳				1	1	9	9		20
50 歳 ～ 54 歳			1	1	1	8	15	10	26
55 歳 ～ 59 歳			1		3	10	3		17
60 歳 以 上	1	3	7	6	2	8	5	5	32
女性団員			1	1	1	5	15	23	
計	1	3	9	9	9	45	120		196

※ 平均年齢 46.6歳

消 防 団 員 出 動 状 況

(人)

種別 所属	火災	風水害等 の災害	捜索	その他の 災害	演習・ 訓練	広報・ 指導	特別警戒	研修等	計
団 本 部	22	1			12	15		46	96
中 央 分 団	17				89	58	2	14	180
野 幌 分 団	16	5			77	72	17	18	205
北 部 分 団	13	5			107	69		30	224
大 麻 分 団	9	6			104	45	5	37	206
上 江 別 分 団		4			98	69		20	191
東 野 幌 分 団		4			88	80	5	33	210
豊 幌 分 団		7			103	65		40	215
東 部 分 団	6	6			122	72		59	265
女 性 分 団					36	141		48	225
計	83	38			836	686	29	345	2,017

消 防 の 沿 革

江別消防のあゆみと主な災害等

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
明治 30			8	・江別村市街川沿・根本旅館より出火、全市街 130 余戸の内、105 戸を焼失		・江別分署が江別警察署に昇格
	31	12			9	・戸長役場庁舎新築移転
		・公設江別消防組の創設 ・市内 1 条 1 丁目に番屋を設置し、腕用ポンプ 1 台を設備		9	・石狩川水系各河川氾濫、全域浸水、農耕地被害甚大。江別地区の半分以上埋没	
				7	・野幌停車場焼失	・江別村農会設置
	34	5		9	・暴風雨により石狩川及び各支川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	・大河原文蔵、最初の道議選に当選
		・野幌に江別消防組第 2 部を増設し腕用ポンプ 1 台を設備		7	・暴風雨により千歳川及び江別川氾濫	・江別市場設立
	37			5	・野幌兵村共有樹林地火災	
				12	・江別橋左岸以北 10 数戸焼失し第 2 部消防手河田庄三郎殉職する	・2 級町村制施行 ・江別村役場庁舎新築移転
	39			4	・融雪、豪雨の為石狩川、千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	・1 級町村制施行
		・第 1 部組頭 1 部長 1 小頭 2 消防手 35 名 第 2 部小頭 3 消防手 22 名		8	・暴風雨により石狩川及び田畑の浸水流出	
	42			8	・暴風雨の為豊平川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	・榎本農場小作地開放
				5	・融雪異常暖気の為、石狩川、千歳川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	
	44			7	・降雨の為石狩川及び千歳川氾濫	・石狩大橋竣工開通
大正 2				8	・暴風雨の為石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	・野幌原始林特別天然記念物の指定をうける
	8			8	・暴風雨の為石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	・夕張川切替新水路着工（昭和 11 年完工）
	9	3		4	・暴風雨の為石狩川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	・石狩川の漁業に対する新規許可を停止
		・市内王子 6 番地に江別消防組第 3 部を増設し腕用ポンプ 1 台を設備				
	10	12				
		・訓練熟達により金馬簾 1 条使用認可				
	11	8				
		・一般寄附及び町費補助により鈴木式ガソリンポンプ 2 台を購入し、第 1 部、第 3 部に常置				
	12					
		・第 3 部番屋新築（14 坪 5 合）				
	15					
		・市内 12 戸地区に私設消防組結成（江別消防組第 4 部の前身）				
昭和 2	1					
		・私設火防溜水設置、警鐘梯子 3 箇所設置				
	4					
		・江別火災予防組合で夜警番詰所を設置				
	3					
				7	・市内 5 条 2 丁目より出火、15 戸焼失	・開村 50 年記念祝典挙行
				9	・豪雨の為千歳川堤防決壊	・飛鳥山公認競馬場開場
	5	3				
		・市内 12 戸通り私設消防組を、江別消防組第 4 部として編入		8	・石狩川、千歳川堤防決壊氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	・夕張鉄道の開通 ・野幌兵村義勇救護隊創設
	6					
				4	・融雪、異常低気圧の為幌向川、千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出	・北海道無尽会社江別出張所設立
				5	・融雪、異常低気圧の為石狩川、千歳川堤防決壊、氾濫、家屋及び田畑の流出	

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和7			8	・豪雨の為、石狩川各支川堤防決壊氾濫により江別市街 1.5m 浸水、田畑 4.123ha 浸水		
	8		5	・融雪豪雨の為石狩川各支川堤防決壊、氾濫、江別地域の大半が被害を受ける		
	9	7	1	・旧屯田兵第2大隊本部建物焼失		・江別太火防組合結成
			10	・市内6条7丁目仏壇灯明より出火、13棟23戸焼失		
	10	11	8	・豪雨により千歳川堤防決壊、家屋及び田畑の流出		・北海道電灯株式会社江別火力発電所設立
	11	10	9	・豪雨により野津幌川排水氾濫		・陸軍大演習が行われ、天皇陛下野幌原始林大沢に行幸
			4	・12戸に於いて住宅3棟3戸焼失、2名焼死		
	12	10				・江別町競馬会この年をもって終止符
	14	4	3	・上江別4戸2棟焼失、母児2名焼死		
	15					
	16	1				
	18	6	4	・豪雨により幌向川氾濫、家屋及び田畑の浸水流出		・王子製紙工場が王子航空機工場に転換 ・各小学校を国民学校と改称
	20	10	7	・豪雨により石狩川、夕張川溢水、家屋及び田畑の浸水流出	7	・米空軍戦闘機江別上空飛来、王子航空機工場、江別発電所などに爆撃を加える
			11	・市内建具工場2棟焼失		
	21	6	11	・暴風雨により石狩川及び各支川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・王子航空機工場が北日本製紙工場になり操業開始
	22	2	3	・元野幌煉瓦工場より出火、工場1棟、社宅1棟5戸焼失		・江別、札幌(五番館)間に中央バス、雁来経由で定期バス運行
		4	4	・融雪により石狩川、幌向川溢水、家屋及び田畑の浸水流出		・江別保健所開設
		7	7	・機関車の煙突の飛び火により5棟焼失		
	23	3	5	・上江別、煙突の飛び火により3棟焼失		・開基70周年記念祝典
		10		・豊幌、煙突の飛び火により住宅3棟焼失		・国立札幌病院江別診療所(現江別市立病院)開設
	24	4	2	・角山、煙突の飛び火により住宅3棟焼失		・都市計画法により元江別の一部を緑町、一番町と改める
			6	・角山、取り灰の不始末により住宅3棟焼失		
			7	・集中豪雨により野津幌川氾濫、道路の決壊、橋梁破壊流出、田畑浸水		

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 24			9	・野幌機農高校実験室より出火		
昭和 25	4	・江別消防団員定員条例改正 150 名とする	8	・豪雨により野津幌川溢水、家屋及び田畑の浸水流出 ・江別太資材工場 3 棟焼失		・町政だより発刊 ・江別町野幌出張所を開設
	26	・対雁自衛消防隊結成 ・江別太自衛消防隊結成	3	・札幌刑務所角山作業所 5 棟焼失		・江別商工会議所設立
			7	・萩ヶ岡醸造製油会社より出火 18 棟焼失		・国立江別診療所、町に移管、町立病院となる (現江別市立病院)
			9	・野幌高校道教員研修所焼失 7 名焼死		
	27	・札幌市と消防の相互応援に関する協定の締結	11	・元野幌窯業工場より出火、2 棟焼失	7	・住民登録法施行第 1 回人口調査
			5	・市内 3 条 3 丁目より出火、227 棟焼失、275 世帯罹災、罹災人員 1,305 名、焼損面積 6,136 坪		
	28	・江別地区警察署と相互応援協定締結				
	29	・全町 30 地区に自主的に火災予防組合結成	4	・融雪により旧豊平川排水氾濫、家屋及び田畑の浸水流出	6	・市民の自治組織として江別市火防衛生組合を結成する
		・市制施行により江別市消防団に改称	5	・暴風により家屋全壊、半壊多数	7	・市制施行、江別市となる
		・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正	9	・台風 15 号により家屋全壊、半壊。農作物の 90%壊滅		
		11				
		・火災予防組合の結成に伴い消防団予防部を解消すると共に分団の消防部長制を廃止し副分団長及び副班長制とする				
	30	・警察法の改正に伴い、新たに江別警察署と相互応援協定の締結	4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出	8	・全道青年大会開催
		・消防専用電話を各分団に架設				
		10				
		12				
		・殉職消防組員、河田庄三郎氏の 50 回忌を成田山光雲寺に於いて行う				
	31	・東西野幌自衛消防隊結成	2	・道立野幌高等学校宿舍 230 坪焼失	11	・野幌駅開設 ・上江別浄水場完成し江別市街地の給水開始
			4	・融雪により石狩川各支川溢水、堤防決壊、家屋及び田畑の浸水流出		
			5	・元野幌窯業会社より出火、16 棟焼失		
			9	・豪雨により野津幌川氾濫、田畑冠水 650ha		
	32	・北部分団 30 周年記念式典	5	・上江別放火により 4 棟焼失	12	・公益質屋開設
		・市役所階上に於いて危険物講習会、試験実施	9	・豪雨により排水、河川氾濫、家屋及び田畑の浸水 950ha		・上江別に母子寮完成
		10				
		・市水道に消火栓敷設、市内に 36 基敷設する				
	33	・団本部に火災専用電話敷設			4	・野幌屯田兵第 2 中隊本部、北海道有形文化財に指定
	34	・出初め式に於ける最後の登梯式を行う	2	・道立江別高等学校火災	5	・市内バス運行開始(江別駅前～対雁市営住宅)
		10				
		・消防本部及び消防署設置				
	35				12	・農事有線放送開始
	36	・消防無線電話(中短波)新設	2	・緑町建設会社寮より出火、2 棟焼失、2 名焼死		・江別駅前国道、道々中央通り舗装完了
			7	・集中豪雨により石狩川各支川隘水氾濫、家屋及び田畑の浸水、1,000 戸		
	37	・119 番の設置	1	・美原の住宅で出火、2 棟焼失、4 名焼死	3	・交通安全都市を宣言

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
昭和 37	8	・江別太石狩河畔にて全道防災訓練実施	8	・台風9・10号の襲来により家屋、田畑浸水 1,135 戸、罹災者 6,487 人	10	・北海道水防訓練行われる(石狩川・夕張川合流点) ・しょう紅熱市内に広がる	
	38	4	・江別市火災予防条例の改正				
	39	3	・江別市消防団員定員条例改正 100 名とする	3	・緑町アパート物置で子供の火遊びから 4 名焼死	8	・道営大麻団地起工式
		5	・火災保険号(ポンプ車)204 号車、日本損害保険協会より寄贈される			10	・市制 10 周年記念式典
		10	・江別市消防創設 65 周年記念式典				
	40	3	・江別市消防職員賞じゅつ金条例の制定	9	・台風23・24号の襲来により石狩川各支川溢水、氾濫、家屋浸水、田畑冠水		・野幌原始林、森林公園造成着工
		4	・美原自衛消防隊結成				
		7	・江別市消防団員定員条例改正 110 名とする	10	・野幌町の駅前商店街飲食店で出火、郵便局など 2 棟焼失		
			・江別市消防団大麻分団増設、4 分団制				
		8	・消防団に日本消防協会より竿頭綬を授与される				
	41	4	・豊幌自衛消防隊結成	8	・集中豪雨により石狩川支川溢水、家屋浸水、田畑冠水 400ha	1	・道立消防学校完成
		9	・消防署野幌出張所及び消防団野幌分団庁舎新築移転(野幌町 30 番地)			6	・下水道事業着工
						12	・市役所新庁舎高砂町に完成
	42	8	・石狩管内水防訓練大会を篠津川で実施			9	・都市等級により江別市は 5 級に指定される
	43	7	・救急車 301 号車購入、救急業務開始	5	・十勝沖地震(震度 4)により家屋一部破損 58 戸	5	・江別市旗を制定
			・江別警察署と救急事態に際しての相互応援協定を締結			6	・江別市開基 90 年、市制施行 15 周年記念式典
		10	・消防本部(署)の庁舎新築移転(高砂町 24 番地)跡地に消防署中央出張所を新設 4 出張所制となる	4		10	・新石狩大橋完成
			・消防本部庁舎屋上に消防監視用テレビ設置	8		11	・野幌屯田兵村記念館完成
		11	・消防団に北海道知事より表彰旗を授与される				
		12	・消防署大麻出張所、消防団大麻分団庁舎(市出張所庁舎と併設)を新築(大麻中町 26 番地)、4 出張所制				
	44	7	・岩見沢市・広島町と消防の相互応援に関する協定の締結	2	・異常降雪により国道12号交通渋滞バス、一般車 500 台、約 2,500 人が被害を受ける	1	・市民憲章制定
		5				11	・江別市火防衛生組合解散
	45	4	・篠津自衛消防隊結成	3	・異常降雪により交通渋滞 388 人救出	4	・江別太の一部を東光町と改める
		12	・上江別自衛消防隊結成	4	・融雪により内水湛水、床下 63 戸、田畑浸水 300ha		・江別太火防組合解散
				5	・融雪により内水湛水、床上 27 戸、床下 48 戸、田畑浸水 1,078ha、道路冠水 10.5km	8	・中央通り買い物公園実施
	46	3	・江別市消防団員定員条例改正 125 名とする			5	・重兵衛渡し渡船廃止
			・救急車 302 号車が日野医院より寄贈される			9	・榎本公園に対雁 100 年記念碑完成
		4	・江別市消防団上江別分団増設、5 分団制			11	・市の花「菊」、市の木「ナナカマド」を制定
		6	・消防用無線電話(超短波)新設				
		10	・東野幌自衛消防隊結成				

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 46	11	・消防署北部出張所、消防団北部分団庁舎新築移転(緑町東2丁目)				
	12	・消防署上江別出張所、消防団上江別分団庁舎新築(現上江別南町1番地25)、5出張所制				
47	4	・八幡自衛消防隊結成	9	・集中豪雨により門水湛水の為床上6戸、畑作被害18,2ha、床下24戸、道路4ヶ所	1	・東野幌青少年会館完成 ・ゴミ粉碎処理工場運転開始
	6	・広報車601号車が日本消防協会より寄贈される				
	7	・南空知消防組合と消防の相互応援に関する協定の締結				
	10	・岩見沢地区消防事務組合と消防の相互応援に関する協定締結				
	11	・東光自衛消防隊結成				
12	・消防本部機構改革3課6係制とする					
48	1	・石狩北部地区消防事務組合消防の相互応援に関する協定の締結			3	・江別終末処理場完成 ・西野幌の一部を文京台と改める
	5	・江別市消防本部に救助隊設置				
	10	・野幌森林自衛消防隊結成 ・火災保険号101号車が日本損害保険協会より寄贈される ・豊幌自治会より豊幌消防会館を寄贈される				
49	1	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正する	4	・低気圧の影響により家屋等の全半壊、一部破損	8	・第1回市民まつり実施 ・史跡駅通の松の伐採
	10	・消防本部(署)、江別電業所及び江別警察署間に専用電話を設置				
50	10	・江別市消防団員定員条例改正150名とする ・消防団東野幌分団を増設、新築移転(東野幌本町7番地)6分団制となる ・消防署東野幌出張所、消防団東野幌分団庁舎新築(東野幌本町7番地)、6出張所制 ・江別市火災予防条例の全部改正	8	・豪雨により石狩川決壊、湛水、各支川溢水床上259戸、田畑浸水906ha ・台風6号の襲来により床上241戸、田畑冠水1,649ha、土木被害24ヶ所、死者1名	10	・野幌老人憩いの家開設 ・夜間急病診療所開設
51	3	・消防監視用テレビ廃止 ・江別市消防協力者要綱を定める ・広報車603号車が拝野武二氏より寄贈される			11	・石狩大橋架替工事完成
52	3	・江別太自衛消防隊解散	6	・幸町木材店より出火、7棟焼失	5	・米国グレンシャム市と姉妹都市提携
	4	・消防本部救助隊を消防署に配置替				
53	2	・消防救急指令装置導入、運用開始			7	・江別市開基100年 ・高知県土佐市と友好都市提携
	10	・江別消防創設80周年記念式典 ・真願寺に消防顕彰碑の建立				
54			10	・台風20号の襲来により門水湛水、床上1戸、床下23戸、田畑浸水130ha	3	・大麻体育館開設 ・市街地東光通り東光橋完成
55	3	・救急車(3B型)302号車が日本損害保険協会より寄贈される	4	・上江別に於いて子供の火遊びから2戸1棟焼失、5名焼死	7	・江別市防災訓練行われる ・道立総合運動公園が西野幌下学田に設置決定
	4	・消防ポンプ自動車(CD-1型)205号車が織田武雄氏他より寄贈される				
	7	・指令車(J-36型)拝野武二氏より寄贈される				

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 55	7	・江別市火災予防条例の一部改正				
56	8	・集中豪雨、台風 15 号の災害に際し、市内緑町第 2 自治会長 より、感謝状授与される	2	・東野幌に於いて住宅 1 棟焼失、3 名焼死	3	・江別市立病院江別高等看護学院閉院
	11	・集中豪雨、台風 15 号の災害活動により、江別市長から表彰状を授与される	8	・集中豪雨により石狩川、各支川溢水氾濫、堤防決壊の為全壊 4 戸、床上浸水 440 戸、田畑浸冠水 5,509ha	4	・ごみ焼却処理場運転開始
	12	・集中豪雨、台風 15 号の災害による防災功勞として北海道知事より消防本部に防災功勞章並びに消防団に竿頭綬を授与される ・ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区より、水害救助用ボートの寄贈を受ける	8	・台風 15 号の襲来により門水湛水、床上浸水 91 戸、田畑冠水 1,805ha		
57	2	・江別市萩ヶ岡に消防待機宿舎を建設	3	・浦河沖地震発生(震度 4)、軽傷 1 名、土木被害 1,000 万円	4	・水道庁舎完成
	3	・消防庁長官より消防本部に防災功勞章並びに消防団に竿頭綬を授与される			8	・北海道水防訓練行われる(石狩川河畔)
	8	・緊急給水用ろ水器、日本消防協会より寄贈(市水道部に配置)				
	9	・昭和 56 年集中豪雨、15 号台風の災害による防災功勞として、内閣総理大臣より表彰状及び功勞賞を授与される				
58	5	・日赤江別市地区より救命ボートの寄贈を受ける			11	・北海道縦貫自動車道、札幌～岩見沢 31.9 キロ開通
	10	・日本道路公団札幌建設局と、救急業務に関する協定を締結 ・岩見沢地区消防事務組合と、消防の相互応援に関する協定書の全部改正				
	11	・札幌市、岩見沢市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正				
59	3	・消防用無線電話基地局の増設、石狩町、石狩北部地区消防事務組合及び南空知地区消防組合と消防の相互応援に関する協定書の全部改正			1	・江別市立病院外来新棟完成
	4	・消防本部(署)の機構改革、本部 3 課 6 係、消防署 7 係 6 出張所			2	・勤労者研修センター完成
	11	・消防署中央出張所、消防団中央分団庁舎新築移転(市内 3 条 1 丁目)			4	・野幌若葉小学校開校
					7	・大麻高校開校
						・北海道水防訓練行われる(石狩川大橋左岸)
						・市制施行 30 周年
60	8	・日本消防協会より電源照明用資器材搬送車 503 号車が寄贈 ・日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車 103 号車が寄贈される			4	・市外局番「011」化
	10	・札幌市と消防の相互応援に関する協定書の一部改正				
61	3	・江別市火災予防条例の一部改正	7	・見晴台店舗兼住宅 1 棟焼失、母子 3 名焼死	4	・北光小学校開校
	4	・江別市消防団員定員条例改正 175 名	11	・文京台緑町大学学生食堂新築工事現場火災、焼死 2 名、負傷者 9 名	7	・森林キャンプ場完成
	5	・江別市消防団豊幌分団増設、7 分団制			11	・J R 高砂駅の開業
	8	・仮設訓練塔 1 棟を消防訓練場に設置する			12	・保健センター完成
62	3	・救急自動車 302 号車を購入			4	・文京台小学校開校
63	3	・化学車 104 号車を購入	9	・東野幌町に於いてガス爆発により住宅 1 棟 2 戸全壊、半径 130m の範囲内の 57 棟に被害	3	・北海道情報大学着工
	4	・消防署の機構改革 6 出張所制を 3 出張所制とする			5	・江別市コミュニティセンター着工

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
昭和 63	4	・江別市消防団員定員条例改正 187名				
	6	・消防団副団長の2名制				
	9	・消防団東部分団増設、8分団制 ・消防庁舎建設準備委員会設置				
平成元	3	・消防庁舎建設委員会を設置			4	・北海道情報大学開学
	4	・江別市消防職員定数条例改正 102名			8	・江別市情報図書館オープン
					9	・江別市コミュニティセンターオープン
					10	・第44回国民体育大会開催 ・江別市葬斎場オープン
2	4	・江別市消防職員定数条例改正 104名			3	・第二大麻体育館オープン
		・消防署の機構改革、副署長制を 2課制とする			6	・江別市情報図書館と市内 中学校の情報オンライン化と なる
	8	・アポロキャップを導入			10	・国勢調査
3	3	・札幌市、広島町、岩見沢地区 (組)、石狩北部地区(組)、及び 南空知(組)との消防相互応援 協定廃止			3	・北電江別発電所廃所
	4	・江別市消防職員定数条例改正 105名			4	・市郷土資料館オープン
		・北海道広域消防相互応援協定 締結			11	・S C C 国際交流センター 完成
	7	・江北地区自衛消防隊結成				・人口10万人達成
	8	・消防本部庁舎着工				
	8	・女性消防団員10名採用				
4	4	・江別市消防職員定数条例改正 107名			2	・道立食品加工研究センター オープン
		・江別市消防団員定員条例改正 192名			4	・ふれあいワークセンター オープン
		・機構改革により、通信指令室、 救助隊を設ける			12	・「季節の道」夏のゾーン完成
	8	・女性消防団員5名採用(計 15名)				
	10	・第21回全国消防救助技術大会 出場(千葉市)				
	10	・消防本部庁舎完成				
5	2	・指揮車購入			4	・中央中学校開校
	3	・消防本部庁舎新築移転(野幌 代々木町80番地)、緊急情報シ ステム運用開始			7	・陶芸の里「セラミックアート センター」着工
		・旭川ガス(株)より救助工作車504 号車が寄贈される			10	・王子・神崎製紙合併、「新王 子製紙」となる
	4	・江別市消防団員定員条例改正 197名				・市役所、第2・第4土曜日完 全閉庁開始
	8	・第22回全国消防救助技術大会 出場(福岡市)			11	・江別市花き栽培技術指導 センターオープン
	10	・災害弱者緊急通報システム稼 動運用開始				
		・米国市長会、消防本部庁舎視察				
		・女性消防団員7名採用 (欠員2名)計20名				
	11	・第9回全国婦人消防操法大会出 場(横浜市)				
		・消防団副団長3名制				
6	2	・(社)江別市及び三郡医師会と、 高速自動車国道等の救急・救助 活動に関する協定書締結	7	・石狩川水難事故、中学生男子 3名水死	4	・江別市ガラス工芸館オー プン
	3	・はしご付き消防自動車502号車 (38m級)を購入			10	・市制施行40周年を迎える ・人口11万人突破
	4	・江別市消防職員定数条例改正 111名				・市役所、完全週休2日制ス タート
		・江別市消防団員定員条例改正 200名			12	・陶芸の里「セラミックアート センター」オープン

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と			
平成6	6	<ul style="list-style-type: none"> ・第46回北海道消防大会開催 ・北海道広域消防相互応援協定の一部改正 ・女性消防団員3名採用、計23名 ・防火管理者連絡協議会と危険物安全協会より連絡車606号車が寄贈される 			12	・勤労者総合福祉センターオープン			
	7				2	1	・訪問看護ステーションオープン		
	4				4	・いきいきセンターオープン			
	5	5			・救急救命士2名誕生	10	・国勢調査により人口11万5千人突破		
	6	6			・消防署大麻出張所庁舎移転新築着工	12	・野幌グリーンモール完成		
	9	9			・消防ポンプ自動車(CD-I)207号車が日本損害保険協会より寄贈される				
	10	10			・巨大地震・災害対策海外研修視察(消防長参加)				
					・江別市救急業務高度化推進協議会設立				
	8	2			・消防署大麻出張所庁舎新築移転(大麻元町192番地3)、業務を開始する	6	・森林公園行方不明者捜索(トド山口駐車場)	2	・第3回石狩川サミット開催
					・消防ポンプ自動車(CD-I)を大麻分団に配置する			3	・野幌小学校新校舎完成
					・江別市消防職員定数条例改正115名	7		7	・江別高校新校舎完成
	4	・江別市消防団に北海道消防協会長より表彰旗並びに表彰状授与される	9			・第34回北海道障害者スポーツ大会開催			
	6	・江別市消防職員委員会設置される			12	・第45回全道身体障害者福祉大会開催			
	10	・(社)日本自動車工業会より高規格救急自動車303号車が寄贈される				・市情報公開条例施行			
9	2	・高規格救急自動車運用開始			4	・(財)江別市在宅福祉サービス公社事業開始			
	4	・江別市消防職員定数条例改正118名				・いずみ野小学校開校			
	5	・札幌圏防災関係機関総合防災訓練に参加				・知的障害者の入所施設(えべつ朋友荘)開所			
	7	・緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練に参加			10	・えぼあホール(市民文化ホール)・大麻公民館オープン			
	12	・大型水槽車108号車を購入				・「ディサービスセンターあかしや」開所			
10	1	・救護活動資器材搬送手動車愛称決定「救太くん」			1	・江別市農協創立50周年			
	3	・自治体消防50周年記念式典参加			2	・痴呆性老人等支援連絡会議設立			
	4	・消防職員定数条例改正121名		・道立大麻高校火災		・災害時における郵便局と江別市の協力に関する協定調印			
	5	・事務改善検討委員会設立			4	・野幌農協創立50周年			
	6	・北海道消防協会札幌地方支部消防総合演習		・台風18号により4,700万円の被害		・岩田政勝氏名誉市民章贈呈される			
	7	・全国消防長会北海道支部警防・救急事務研究会			8	・土佐市友好都市20周年記念式典			
	9	・災害支援車801号車を購入				・人口12万人突破			
	10	・江別消防創設100年記念事業			12	・江別市立病院新築			
		・携帯電話分散受信方式119番受信運用開始							
11	2	・高規格救急自動車302号車を購入			4	・市長・市議選挙			
	3	・高規格救急自動車2台目運用開始			6	・江別市ホームページ開設			
	4	・消防職員定数条例改正125名			8	・江別市総合防災訓練行われる			

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
平成 11	4	・機構改革、消防署の指導課を消防課に、警備課を救急救助課に改める					
	6	・北海道防災航空隊員派遣					
	8	・119 番通報訓練装置、防火管理者連絡協議会と危険物安全協会より寄贈される					
	10	・第 28 回消防救助技術訓練大会出場(横浜市)					
	12	・第 84 回全国消防長会法制委員会開催					
		・水槽付消防ポンプ自動車 109 号車を購入					
	12	2	・消防団豊幌分団庁舎新築移転			2	・豊幌地区センターオープン
			・江別市消防団に日本消防協会より表彰旗並びに表彰状を授与される			3	・資源物の分別収集開始
		3	・有珠山噴火により北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣 述べ 62 隊 143 名			4	・介護保険制度スタート
		4	・江別市消防職員定数条例改正 128 名			10	・野幌鉄南地区住民票等証明交付窓口開設
			・消防本部に参事(防災担当)の職を設置			12	・いきいきセンターわかくさオープン
		・高規格救急車移動配備開始				・保健センター若草町に移転	
7	・北海道操法訓練大会出場(東野幌分団)						
10	・江別市消防総合防災訓練						
	・小型動力ポンプ積載車 703 号車を江別出張所に購入配備						
13	1	・消防力の基準(消防庁告示第 1 号により)改正			2	・J R 高砂駅新駅舎・歩道橋完成	
	4	・江別市消防職員定数条例改正 130 名				・5 農協が合併して道央農協誕生	
	9	・小型動力ポンプ積載車 705 号車を野幌出張所に購入配備			3	・江別市立学校給食センター完成	
				7	・新ごみ処理施設建設工事着工		
				8	・江別市防災(水防)訓練行われる		
				12	・北海道林木育種場旧庁舎が文化庁の登録有形文化財に登録される		
					・中央中学校男子バレーボール部全国大会優勝		
					・J R 大麻駅バリアフリー化工事完成		
14	6	・石狩川水防公開演習参加(長沼町)			3	・「防災あんしんマップ」全世帯に配布	
					4	・完全学校週 5 日制始まる	
					10	・江別河川防災ステーションオープン	
					12	・市環境クリーンセンター「くるりん」稼動	
15	2	・高規格救急自動車 305 号車購入			4	・市長市議選挙	
	9	・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災に伴う北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣 述べ 3 隊 24 名			5	・特別職等の専用車廃止による多用途車両(低公害車) 導入	
	10	・出光興産(株)北海道製油所災害予防対策支援活動に伴う、北海道広域消防相互応援協定による応援隊派遣述べ 8 隊 40 名			8	・土佐市・江別市友好都市提携 25 周年式典	
	11	・全国消防長会北海道支部予防委員会開催				・全国中学校体育大会水泳競技大会開催	

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 16	4	<ul style="list-style-type: none"> ・メディカルコントロール体制構築により、救急救命士による包括的指示下での除細動開始 ・出光興産(株)北海道製油所ナフサタンク火災活動に対し、消防庁長官より防災功労者表彰を授与される 	9	<ul style="list-style-type: none"> ・台風18号による強風の為軽傷者5名、街路樹等の倒木1,862本、建物等の一部損壊190件、農業被害、被害総額47,245万円 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・江別市中心市街地活性化基本計画策定 ・第5次江別市総合計画スタート ・市制施行50周年記念式典 ・防災連携消防訓練実施(東野幌本町：パルタウンのつぼろシティハウス) ・家庭ごみ収集の有料化開始 ・「江別市のレンガ」が北海道遺産に選定
	8		12		3	
17	4	<ul style="list-style-type: none"> ・江別市他石狩管内の一部消防本部と基地の札幌手稲溪仁会病院間でドクターヘリ暫定共同運用開始 ・(財)日本消防協会の助成を受け、婦人防火クラブ等の民間防火組織の資器材整備の為、AED(自動体外式除細動器)一式を購入。 	12	<ul style="list-style-type: none"> ・市内野幌松並町に於いて、住宅1棟焼失、焼死者2名 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・市制施行50周年記念事業の一環として、「新江別市史」刊行 ・「江別市地域福祉計画」策定 ・江別の顔づくり事業「都心地区整備基本計画」策定 ・防災連携消防訓練実施(大麻沢町サンゴールドビル) ・江別市に於いて道内初の「認知症高齢者向けグループホームの短期入所者事業利用特区」で構造改革特区に認定 ・江別市の地域再生計画『ソーシャル・エンタープライズの拠点・メッカ』づくりを通じた地域活力コミュニティの再生」が地域再生法に基づき認定
	12		10			
18	10	<ul style="list-style-type: none"> ・消防顕彰碑消防本部庁舎移設に伴う工事完了 ・緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練参加2名 ・具体的指示下での薬剤投与が可能な救急救命士の運用開始 	1	<ul style="list-style-type: none"> ・落雪事故多発 死者1名 ・救急・救助出動総数21件 	3	<ul style="list-style-type: none"> ・江別市行政改革大綱見直し ・市民活動センターオープン ・防災連携消防訓練実施(江別市コミュニティセンター周辺) ・江別市・新篠津村合併協議会設置
	12		2		9	
19	6	<ul style="list-style-type: none"> ・江別・野幌・大麻出張所の各水槽車へAED積載配備 ・PA連携本運用開始 			2	<ul style="list-style-type: none"> ・江別市・新篠津村合併協議会開始 ・市長・市議選挙 ・広域消防水難連携訓練(江別河川防災ステーション前 千歳川) ・JR野幌駅鉄道高架工事着工 ・野幌駅周辺地区活性化協議会による「野幌駅周辺地区活性化計画(案)」作成
				4		
20	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「北海道消防広域化推進計画」が策定された ・第1回石狩管内5消防本部消防広域化等実務担当者会議開催(以降、2回開催) ・北海道洞爺湖サミット開催に伴う消防特別警戒要員派遣(予防2名・警防10名) ・第1回石狩管内5消防本部における消防広域化並びに消防指令業務等の共同化検討委員会開催(以降、4回開催) ・第1回石狩管内5消防本部消防指令業務等の共同化作業部会開催(以降、2回開催) ・第1回石狩管内5消防本部消防広域化作業部会開催(以降、5回開催) 		<ul style="list-style-type: none"> ・硫化水素ガスによる事故多発 死者2名・負傷者3名 	8	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道防災総合訓練実施(江別高校跡地) ・江別市・新篠津村合併協議会廃止
	5		9			
	7					
	8					
	9					

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と	
平成 20	10	・石狩北部地区消防事務組合消防本部と指令業務等の共同化検討会議開催（以降、4回開催）					
	12	・水槽付消防ポンプ自動車107号車を購入					
	21	6	・高機能消防通信指令システム実施設計委託	12	・角山建設資材置き場より出火3棟焼失	2	・市内4大学、江別商工会議所、江別市が包括連携・協力に関する協定を締結
		8	・水槽付消防ポンプ自動車103号車を購入 ・住宅用火災警報器設置推進本部運用開始			4	・「第5次江別市総合計画」後期基本計画を策定
					7	・江別市自治基本条例スタート	
					9	・ねんりんピック将棋大会、江別で開催 ・江別市防災連携訓練（消防学校） ・新型インフルエンザ流行（A/H1N1型）	
	22	1	・災害対応特殊救急自動車301号車を購入	8	・J A道央 野菜選別施設 1棟焼失	8	・常陸宮妃殿下ご臨席のもと、第29回赤十字北海道大会開催
		2	・有限会社トンデンファームよりAED（自動体外式除細動器）トレーニング用マネキン等を寄贈される			9	・江別市防災訓練実施（北翔大学）
		5	・江別市環境整備事業組合よりAED（自動体外式除細動器）1台寄贈される			10	・第19回国勢調査が行われ、江別市において戦後初の人口減少
		6	・高機能消防指令システム（Ⅱ型）整備工事契約締結				・鈴木章 北大名誉教授、ノーベル化学賞受賞
		12	・丸山産業有限会社よりAED（自動体外式除細動器）1台寄贈される				
	23	1	・有限会社トンデンファームより連絡車として軽自動車1台寄贈される	1	・記録的な大雪により落雪事故続発 死者1名	2	・鈴木章 北大名誉教授へ江別市特別栄誉賞贈呈
3		・東日本大震災発生により、緊急消防援助隊北海道隊として救急隊員2名、救助工作車1台と救助隊員5名を宮城県石巻地区に派遣 ・高機能消防指令システム運用開始	8	・集中豪雨により萩ヶ岡床上浸水1戸、他市内道路冠水箇所多数発生	3	・東日本大震災発生により被災地へ職員派遣、物的支援を行う（～12月まで）	
4		・緊急消防援助隊北海道隊として救助工作車1台と救助隊員5名を宮城県石巻地区に派遣	12	・市内弥生町に於いて、住宅1棟焼失、焼死者1名	10	・第三中学校統合により江北中学校廃校 ・江別市防災連携訓練（市立上江別小学校） ・野幌鉄道高架に伴い新野幌駅開業	
6		・機構改革、消防本部に指令課を新設し、警防課に救急高度化担当（主幹及び主査）を配置 ・住宅用火災警報器完全義務化スタート					
10		・全国消防長会より東日本大震災に際して緊急消防援助隊派遣で表彰を受ける					
11		・総務大臣より東日本大震災に際して緊急消防援助隊派遣で表彰を受ける ・J A道央より高規格救急車303号車が寄贈される					
24	7	・連絡車606号車を購入	9	・市内で自動販売機などへの放火が相次ぐ	3	・中原通（鉄西線～鉄東線間）が開通	
	11	・消防団東野幌分団を野幌若葉町へ新築移転	12	・市内大麻中町にて異臭騒ぎ、住民66名が避難	6	・大麻3遺跡出土の土偶が道指定有形文化財に指定	
					8	・J R野幌駅舎完成 ・江別出身の右代啓祐選手、ロンドンオリンピック（陸上競技・男子十種競技）に日本代表で出場、順位は20位	

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 24					9	・江別市防災連携訓練 (北海道消防学校)
	25	3	2	・大雪のため市内小中学校が臨時 休校	3	・6 丁目通に高砂地下歩道（鉄 西線～鉄東線間）が開通
		4	3	・暴風雪により八幡地区で車両の スタックが続出	7	・土佐市との友好都市提携 35 周年を迎える
			8	・市内野幌町にて共同住宅 1 棟部 分焼、死者 1 名	9	・江別市防災訓練（豊幌地区） ・江別市防災フェス（野幌地 区）
		5			11	・市内元野幌の一部が大麻泉 町へ町名変更
		10			12	・9 丁目通に鉄道高架下道路が 開通
		12				
	26	1	3	・市内向ヶ丘にて住宅 1 棟全焼、 死者 1 名	4	・第 6 次江別市総合計画の策定
		4			7	・市政施行 60 周年
					8	・江別市防災訓練（北海道消防 学校）
		10			9	・短時間での集中的な豪雨に より浄水場の処理能力を超え 市内の約 3 分の 2 が断水
					11	・陸上十種競技アジア大会金 メダルの右代啓祐選手が市民 栄誉賞第一号に
					12	・野幌駅北口駅前広場完成
	27	1	8	・台風 7 号により新栄通アンダー パス冠水	7	・平和のつどい初開催 ・右代啓祐選手 日本選手権 6 連覇（陸上競技・男子十種競 技）
		3			10	・野幌駅前商業ビル完成
		4			11	・新栄団地 B 棟完成
		6				
		10				
	28	3			4	・江別第一小学校開校
		4			8	・右代啓祐選手リオデジャネ イロオリンピック出場
		10				
		12				
	29	2	6	・市内大麻泉町にて住宅 1 棟半焼、 死者 2 名	3	・株式会社龍田工務店より無 人航空機（ドローン）が寄贈 される
		3			4	・健康都市宣言 ・都市と農村の交流センター “えみくる”オープン
					9	・江別市総合防災訓練実施 (江別高校跡地)
		8			10	・健康都市宣言記念 えべつ健 康フェスタ開催 ・グレンシャム市との姉妹都市 提携 40 周年記念祝賀会開催
		12				

年号	月	消 防 の あ ゆ み	月	災 害 と 主 な 火 災	月	江 別 市 の で き ご と
平成 30	1	・消防ポンプ自動車204号車を購入	9	・台風21号による強風被害発生、軽症2名、住宅被害36件、停電4,698戸、倒木2,694本、倒木による通行止め10カ所 ・北海道胆振東部地震発生、震度5強を記録。重症1名、中等症1名、軽症3名、市内全域停電、断水約23,500戸、家屋全壊5棟、半壊19棟、一部損壊125棟、避難所6カ所開設（最大避難者数519名）	3	・角山小学校の廃校 ・複合施設“ゆめちからテラス”オープン ・土佐市友好都市提携40周年記念式典、祝賀会開催
	4	・機構改革により庶務課から総務課へ名称変更、総務課へ消防指令共同・広域化担当（主幹）を配置			5	
	5	・全国消防長会予防委員会（札幌市～江別市幹事）開催			8	
	9	・北海道広域消防相互応援協定に基づき後方支援隊3名を勇払郡厚真町に派遣				
31	10	・はしご付消防自動車502号車を購入				
	1	・小型動力ポンプ積載車703号車を江別出張所へ配置				
令和元	4	・江別市消防本部公式キャラクター「ボーカくん」を制定 ・機構改革により予防課を消防本部に配置。消防署に管理課を新設し指令課と統合。消防課、救急課を統合し消防1課、消防2課を新設 ・北海道広域消防相互応援協定に基づき応援隊延べ6隊27名を夕張市石炭博物館模擬坑道火災へ派遣	12	・市内一番町にて住宅1棟全焼、死者1名	8	・江別市総合防災訓練実施（市立大麻小学校） ・市民交流施設“ぷらっと”オープン
	7	・江別市学生消防サポーター発足、10名の学生が登録				
	8	・小型動力ポンプ積載車705号車を野幌出張所へ配置			12	

江別市消防本部公式キャラクター



ボーカくん

平成31年4月に江別市消防本部公式キャラクターとして制定されました。
大きな目で火の消し忘れなどがないか周りをしっかり見てパトロールします。